

Joie™

ECE R129 適合

【ハーネスモード使用時】

適応月齢 生後 15 ヶ月以降

適応身長 76cm-105cm

適応体重 22kg 以下

【ブースターモード使用時】

適応身長 100cm-150cm

適応体重 36kg 以下

ジョイー・チャイルドシート

i-Bold™

アイ-ボールド

取扱説明書 / 保証書



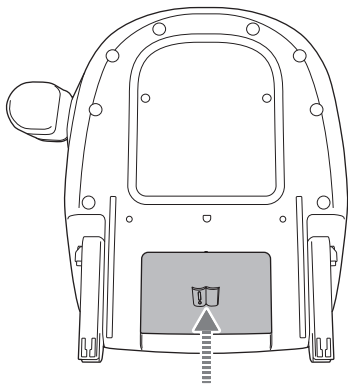
ECE R129 : i-Size

2401V01

JP Welcome to Joie™

ジョイー・チャイルドシートをお求めいただき、誠にありがとうございます。本製品は、身長 76cm から 150cm まで、かつ体重 36kg 以下のお子さまが使用できる、自動車用のチャイルドシート、ブースターシートです。

本製品は、ECE R129 基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。安全かつ快適に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本製品底面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



もくじ

はじめにお読みください	4	本製品の取り付け、設置	48
ユーザー登録のお願い	4	お子さまの乗せかた	55
正しい使用	4	お手入れのしかた	62
チャイルドシートについて	4	カバー類、パッド類の取り外しかた	63
使用に関するアドバイス	5	カバー類・パッド類・インサートのお手入れ	68
適合する自動車の座席について	5	本体（ベース、シェル）のお手入れ	69
本製品の情報	5	抗菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意	70
表記の説明	6	保管のしかた	71
緊急時の対応	6	廃棄のしかた	71
内容物の確認	7	保証書	74
各部の名称	8		
使用できるお子さまの条件	9		
自動車の座席に関して	11		
使用可能な座席の位置と向き	11		
3点式シートベルトの使用	11		
使用できない座席	12		
使用上の注意事項	14		
使いかた	21		
サイドインパクトプロテクション (SIP) の使いかた	21		
バックルの使いかた	22		
インサートの使いかた	23		
カップホルダー	24		
肩ベルト（ハーネス）の長さ調節	26		
リクライニングの使いかた	27		
ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節	27		
ハーネスモードで使用する	28		
本製品の取り付け	29		
本製品の取り外し	36		
お子さまの乗せかた	38		
ブースターモードで使用する	43		
ブースターモードへの切り替え	45		

はじめにお読みください

本製品は、ECE R129 基準に適合する、i-Size 強化型チャイルドシートです。
本製品は使用するモードによって、それぞれお子さまが下記の条件をすべて満たしている必要があります。

【ハーネスモード（本製品のハーネスを使用します）】

生後 15 ヶ月以上 / 身長 76cm ~ 105cm まで / 体重 22kg 以下

【ブースターモード（自動車の 3 点式シートベルトを使用します）】

身長 100cm ~ 150cm まで / 最大 36kg まで

使用するモードにより、使用可能なお子さまの範囲が異なりますのでご注意ください。

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

正しい使用

本製品が、所定の安全性能を発揮するように、本書および本体の表記の指示に従って、正しく自動車の座席に取り付けて、正しい方法で使用してください。

チャイルドシートについて

本製品は、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、本製品を正しく使用しないと、交通事故や急制動時に本製品が所定の安全性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。事故時や、緊急事態時には、お子さまを直ちに応急処置し、医療機関にご相談ください。

適合する自動車の座席について

本製品は、ほとんどの自動車の座席で使用することができますが、すべての自動車、座席において使用できるとは限りません。

本書および自動車の取扱説明書を参照の上、確認してください。

以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しています。

カトージ ホームページ katoji.co.jp

本製品の情報

ハーネスモード [固定には ISOFIX 固定装置 + トップテザーを使用]

1. ハーネスモードの場合、本製品は ECE R129/03 によって認証された i-Size エンハンスド・チャイルド・レストレイント・システム（チャイルドシート）として使用することができます。自動車の取扱説明書において i-Size 対応と示された座席において使用することができます。i-Size 対応の座席においても、本製品の使用において一定の条件や制限事項のある場合がありますので、あらかじめご了承ください。
2. 本製品の取り付け、使用に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

ブースターモード [固定には自動車の 3 点式シートベルトを使用]

※ブースターモードでは、ISOFIX コネクターを追加して使用することもできます

1. ブースターモードの場合、本製品は、ECE R129 によって認証された i-Size ブースターシート・エンハンスド・チャイルド・レストレイント・システム（ブースターシート）として使用することができます。主として、自動車の取扱説明書において i-Size 対応と示された座席において使用することができます。ただし i-Size 対応と示されていない自動車や座席で使用可能な場合がありますので、当社の適合車種一覧、自動車の取扱説明書をご確認ください。また、i-Size 対応の座席においても、本製品の使用において一定の条件や制限事項のある場合がありますので、あらかじめご了承ください。
2. 本製品の取り付け、使用に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

原材料 : プラスチック / 金属 / 縫製品




パテント No. : 特許出願中

表記の説明



本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。


危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 危険	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表記に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表記に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

ポイントの表記について

 ポイント!	この表記に付随して記載されている事柄は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいて頂きたい重要な情報や、本製品をより便利にご使用いただくための情報です。
---	---

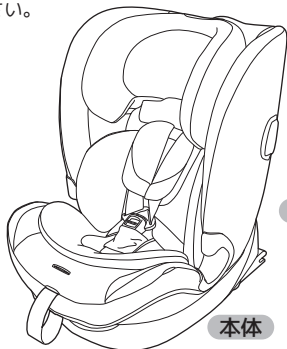
緊急時の対応

交通事故などの緊急時には、本製品の使用モードに応じて、あわてず本製品のハーネスまたは自動車のシートベルトのバックルを操作して、ハーネスまたはシートベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させ、直ちに応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

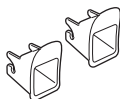
お子さまの脱出の際に、ハーネス、シートベルトに絡まないように注意してください。衝撃の影響などによってバックルが外れない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスまたはシートベルトを切断して脱出させてください。

内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



本体



ISOFIX ガイド × 2



サイドインパクトプロテクション※ × 2

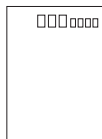
※P21「サイドインパクトプロテクション (SIP) の使いかた」を参照して本体に取り付けてください。本製品を取り付けた座席のドア側に取り付けます。



カップホルダー



本書



ユーザー登録はがき

⚠ 警告

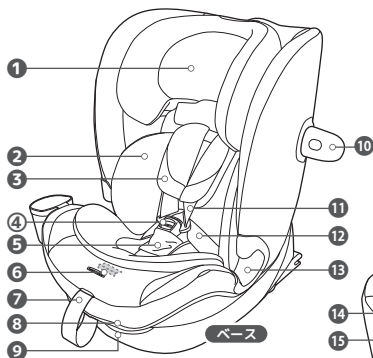
窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

各部の名称

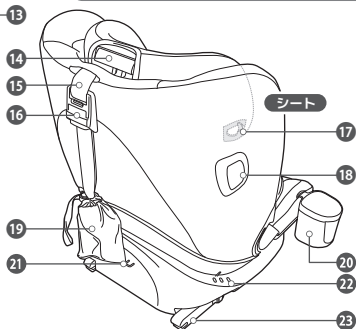
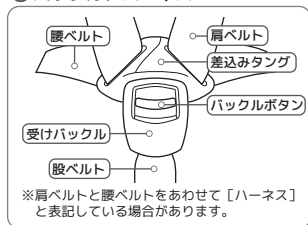
本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



ISOFIX ガイド

④ バックル/ハーネス



- ① ヘッドサポート
- ② インサート
- ③ 肩ベルトパッド
- ④ バックル/ハーネス
- ⑤ 股ベルトパッド
- ⑥ ベルトアジャスター
- ⑦ アジャストベルト
- ⑧ リクライニングレバー
- ⑨ ISOFIX アジャストレバー
- ⑩ サイドインパクトプロテクション
- ⑪ 肩ベルト (ハーネス)
- ⑫ 腰ベルト (ハーネス)
- ⑬ 腰ベルトガイド (シートベルト用)
- ⑭ ヘッドサポートアジャストレバー
- ⑮ トップテザーベルト
- ⑯ トップテザーベルトアジャスター
- ⑰ 肩ベルトガイド (シートベルト用)
- ⑱ SIP スロット
- ⑲ トップテザー (収納袋)
- ⑳ カップホルダー
- ㉑ トップテザー固定バー
- ㉒ リクライニングインジケーター
- ㉓ ISOFIX コネクター

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。

1 (座席) 背もたれ

●シートベルト

2 シートタング

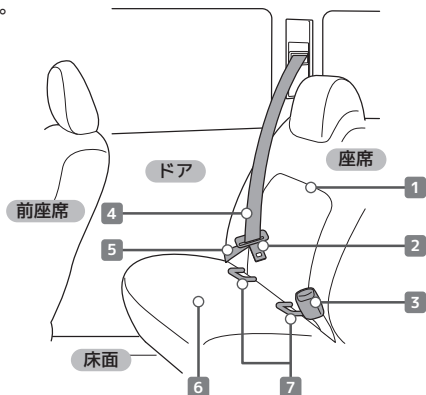
3 シートバックル

4 シート肩ベルト

5 シート腰ベルト

6 (座席) 座面

7 ISOFIX 固定装置



本製品では自動車のトップテザーアンカーを使用します（ハーネスモード時）。トップテザーアンカーの位置は車種により場所が異なります。お車の取扱説明書をご覧ください。トップテザーアンカーの位置を確認しておいてください。

👉ポイント!

お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準（ECE R129）によって定められています。

使用するモードによって、それぞれ使用可能な範囲が異なります。

それぞれの範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

⚠️危険

条件に当てはまらない場合は使用しないこと

各モードで定められた使用可能な条件をお守りください。条件に満たない、または超えての使用は大変に危険です。

ハーネスモード使用時

使用する向き
自動車の進行方向に対して前向き
座席への取り付け方法
ISOFIX+トップテザー
お子さまの固定方法
本製品のハーネス
使用可能なリクライニング
1~3



使用可能なお子さまの条件

身長：76cmから105cmまで

体重：22kg以下

年齢：生後15ヵ月を超えてから※使用可能～およそ4歳頃まで

※生後15ヵ月を超えるまでは本製品を使用しないでください。

ブースターモード使用時

使用する向き
自動車の進行方向に対して前向き
座席への取り付け方法
自動車の3点式シートベルト ISOFIXコネクターを併用することができます
お子さまの固定方法
自動車の3点式シートベルト
使用可能なリクライニング
1~3



ポイント!

ブースターモードではトップテザーは使用しません。

使用可能なお子さまの条件

身長：100cmから150cmまで

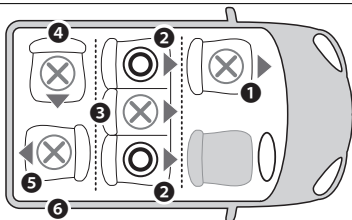
体重：36kg以下

年齢：3.5歳頃～12歳頃まで使用可能※

※「年齢」は使用可能期間の目安となります。身長および体重で使用可能期間は定められています。

自動車の座席に関して

使用可能な座席の位置と向き



- ① 助手席 ×使用不可※1
- ② 2列目左右ドア側席 ○使用可能※2
- ③ 2列目中央席 ×使用不可
- ④ 進行方向に向かって横向きの座席 ×使用不可
- ⑤ 進行方向に向かって後ろ向きの座席 ×使用不可
- ⑥ 3列目以降の左右座席 ○使用可能※2

※1：使用できません。より安全な後部座席での使用をお勧めします

※2：ISOFIX 固定装置とトップテザーアンカーが装備された座席でのみ使用できます

自動車の取扱説明書において i-Size 対応と指定されている座席では、原則として使用が可能です。諸条件により使用を推奨しない場合があります。また i-Size 対応でない座席でも使用することができる場合があります。

本製品が使用できる車種、座席の情報に関しては、適合車種一覧で確認していただけます。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp



使用の可否の条件を守ること

上記の座席すべてで使用可能とは限りません。

上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席でのみ使用可能です。

3点式シートベルトの使用

ブースターモードでは自動車の3点式シートベルトを使用します。2点式シートベルトや5点式シートベルトの座席、シートベルトが装備されていない座席では使用することができません。

使用できない座席

本製品は、すべての自動車、すべての座席で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

⚠危険

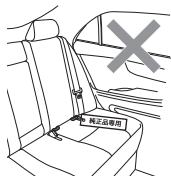
以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

ハーネスモードの場合、ISOFIX 固定装置が必須です

本製品をハーネスモードで使用する場合は、自動車の ISOFIX 固定装置とトップテザーアンカーを両方とも使用します。これらを装備していない座席では使用できません。

ISOFIX 固定装置の仕様にご注意ください

ISOFIX 固定装置の仕様によっては、本製品の固定に適さない場合があります。お車の取扱説明書において、使用できるチャイルドシートが予め指定されている場合などは、本製品が適切に固定できないリスクがあります。お車の ISOFIX の仕様については、自動車の取扱説明書をご参照、または自動車メーカーにお問合せください。なお、ブースターモードでお使いいただく場合は、ISOFIX 固定装置によらず自動車の3点式シートベルトで本製品を使用することができます。



助手席

当社は助手席での使用は推奨しておりません。事故や衝撃を受けた際にダッシュボードにぶつかったりするほか、運転に支障をおよぼすおそれもありますので、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

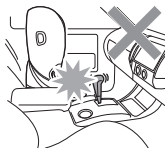
本製品を安定して設置できない座席

極端な凹凸がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、可動操作に干渉する座席では、本製品が安定しないため取り付けることができません。また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、適合車種一覧での取り付け可否に関わらず、本製品を安定して設置できないこともあります。



本製品の取り付けにより、自動車の重要な操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与え、自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用しないでください。本製品を取り付けることにより自動車の操作に影響をおよぼさない事をあらかじめ確認した上で、非常時や緊急時も想定してあらゆる重要な操作に影響しないことを確認してください。



本製品の角度が異常になる座席や、座席やドアに干渉する座席

本製品取り付け時に本製品の角度が異常になる座席や、可動式の座席で、動かした際に本製品に干渉する座席、自動車のドアの開閉時に干渉する座席では使用しないでください。

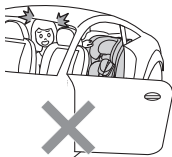
⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

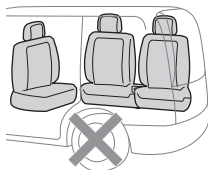
実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。



進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席では取り付け使用できません。



パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



その他、しっかりと取り付けられない座席や、取り付け作業中に安定しない座席

取扱説明書に従っても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、トップテザーが固定できない（ハーネスモード時）、座面の形状が変化する座席など、正常に安定して取り付けや使用ができない座席では、使用しないでください。



本製品の取り付け操作中に移動する座席

本製品の取り付け操作中に移動する座席には取り付けしないでください。

自動車のドアの開閉操作や可動式座席の操作に干渉しないように取り付けること

本製品を、ドアや可動式座席の動きに干渉する座席に取り付けると、自動車の操作に影響を与えるだけでなく、本製品の破損や、本製品の正しい取り付け状態に影響をおよぼすおそれがあります。

適合車種一覧で取り付け不可、使用不可となっている車種または座席

本製品の適合車種一覧で、取り付け不可、使用不可となっている車種または特定の座席では使用できません。また、車種が適合していても、すべての座席で取り付け、使用可能とは限りません。ご購入前、ご使用前に適合車種一覧をご確認ください。

使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

使用条件を厳守すること

本製品は、適合する基準によって使用できるお子さまの条件が定められています。この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハーネスモード、ブースターモードそれぞれに使用できるお子さまの条件が定められています。各モードとも、それぞれの条件に適合した状態でのみ使用することができます。



正しく自動車の座席に固定して適切に使用すること

本製品を適切な状態で使用しないと、急カーブ、急停止、衝突などの衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。

本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に固定し、使用してください。

使用するモードに応じて、ISOFIX コネクター、トップテザー、ハーネス、または自動車の3点式シートベルトを正しく調節して、本製品およびお子さまを適切に固定した状態でご使用ください。



本製品の取り付け、設置場所に注意すること

本製品を、取り付け設置する場所によっては、お子さまが可動式の座席や自動車のドアに挟まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。あらかじめ安全を確認した上で取り付け、使用してください。

取扱説明書および本製品に記載の指示に従うこと

本書の指示にない使いかたはしないでください。本書および製品本体に記載する方法以外での取り付け、使用はしないでください。

本製品は取扱説明書および自動車の取扱説明書の内容を理解した大人の方が操作すること

本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぼすおそれがあります。たとえ使用方法を理解していたとしてもお子さまに操作をさせないでください。

取扱説明書は本製品と分離して保管しないこと

第三者に本製品を使用させる場合にも、本書を必ず参照させて本製品を正しく使用できるようにしておいてください。本書は、常に本製品底面の取扱説明書ホルダーに入れて保管してください。

短距離、短時間の移動でも本製品を使用すること

多くの事故は、短距離、短時間の移動の際に発生しています。たとえ短い距離の移動でも、お車を使用する場合は、お子さまの安全のため本製品を正しく使用してください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

体型が合わない場合は使用しないこと

「使用できるお子さまの条件」の規定の範囲内でも、お子さまが成長し、本製品に正しくお子さまを乗せると自動車のシートベルトを正しく装着できなくなった場合には、所定の安全性能を発揮できませんので、本製品を使用しないでください。

お子さまを正しく座らせて使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを座らせて使用してください。シートベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



指定する方法以外で使用しないこと

本製品の固定やお子さまの固定のために、ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。また、ハーネスまたはシートベルトを装着した上に、これらのもので補強してもいけません。ハーネス、シートベルトが正しく使用されていても、これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかったり、ハーネスやシートベルトに干渉するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



シートベルト（シートバックル・シートタング）に損傷がある場合は使用しないこと

交通事故や急制動の際にシートベルトが切断したりシートバックルが外れたりして、重大な事故につながるおそれがあります。

また、ハーネスモードで使用する場合も同様に、本製品のハーネスやバックルに損傷がある場合には使用しないでください。



お子さまを自動車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、どれだけ短い時間でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりシートベルトに絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



ハーネスやシートベルトを含む、本製品の使用や取り付けに関わるベルト類は、ねじれやゆるみのないようにすること

ハーネス、シートベルト、トップテザーベルトにゆるみやねじれがないようにして本製品をご使用ください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

正しくハーネスやシートベルトを装着すること ハーネスやシートベルトをねじらないこと

お子さまが装着するハーネスやシートベルトにねじれがあると、本製品が安全に機能しません。本製品を正しく調節して、ハーネスやシートベルトにねじれないことを確認してしっかりと締め付け、いずれの場合もしっかりとバックルを留めて正しく使用してください。



ハーネス、シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すこと
事故や衝撃を受けた際に、骨盤でしっかりと受け止めるため、ハーネス、シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通して適切に締め付けるようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内蔵の損傷や骨折に至る危険性が高まります。



EPP / EPS フォーム（白い衝撃緩衝材）を取り外さないでください

本製品の内部に取付けられている EPP / EPS フォームは、本製品の安全性に関わる重要な部品です。絶対に取り外さないでください。

生後 15 ヶ月以上になるまでは使用しないでください

お子さまの身長（76cm 以上）、体重が本製品の使用できるお子さまの条件を満たしていたとしても、お子さまの月齢が生後 15 ヶ月以上になるまでは本製品を使用しないでください。

お子さまの身長が 100cm を超えるまでは、ブースターモードで使用しないこと（ハーネスモードで使用してください）

身長 100cm に満たないお子さまがブースターモードで使用する、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、過剰な負担が掛かるなどして重大な事故に繋がるおそれがあります。

身長が 105cm を超えたらブースターモードで使用する

事故や衝撃を受けた際に、お子さまに過剰な負担が掛かり重大な事故につながるおそれがあります。お子さまの身長が 105cm を超えたら、ブースターモードに切り替えて使用してください。ハーネスモードでは使用しないでください。

前向き以外にして使用しないこと

本製品は自動車の進行方向に向かって前向きにして使用します。後ろ向き、横向き、斜めを向いた状態では使用できません。



⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることが示します。

カバー類を取り外して使用しないこと

カバー類を取り外して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、ウレタンも安全に関わる重要な部品です。決して取り外して使用しないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

本製品に破損や異常がある場合や部品が欠落している場合や部品を取り外した状態では使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあり、また本製品の破損部により思わぬ事故につながるおそれがあります。



⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること
交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用しないでください。また、本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。このような場合は、保証の対象外となり、また安全性が担保できないため、修理もできませんので、新しい製品をご購入いただく必要があります。



走行前には本製品の状態を確認すること

お子さまや他の乗員などが、本製品に触れたり操作したりするなどして、本製品の状態が変化しているおそれがあります。走行前には、毎回本製品が適切な状態にあるかどうか必ず確認してください。製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。



使用しない場合でも、車室内では本製品を必ず固定しておくこと
お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、ISOFIX 固定装置等で自動車の座席に固定してください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

クッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないでください。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品を正しく使用することにより、自動車の座席にくぼみや傷が生じる可能性があります、あらかじめご了承ください。



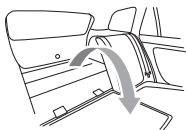
走行中は、本製品を操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。お子さまの状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、お子さまの状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



バックルが正しく留まっているか適宜確認すること

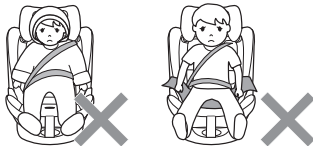
お子さまがバックルに触れると、バックルが解離してシートベルトが外れるおそれがあります。お子さまにはハーネスモードの場合は本製品のバックルに、またブースターモードの場合にはシートバックルに、それぞれ触れないように言い聞かせ、適宜バックルが正しく留まっていることを確認してください。



不適切な着衣で使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまが落下したり、飛び出したりするおそれがあります。ケープや毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、腕や足が出ない（ハーネスやシートベルトを正しく装着できない）構造の衣服、サイズの大きすぎる衣服などを着せて本製品を使用しないでください。また、ダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にハーネスやシートベルトを装着できるよう、本製品を正しく調節してください。

また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなるおそれがありますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。

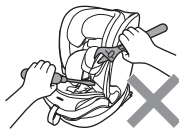


警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

本製品を分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造をしてはいけません。また、指定外の部品への交換、他社製の部品や製品を追加して取り付けて使用しないでください。型式承認機関の承認を得ずに、本製品を改造、改善、修繕を行うことは禁止されています。



本書の指示にない荷重支持接点を使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本書、本製品本体で指示されている荷重支持接点以外を使用しないでください。

指定外のアクセサリを追加して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用、ジュニアシート用とされていても、当社指定外の市販のマットやソフトクッションなどを本製品に追加して使用しないでください。

過度の負担を掛けないこと

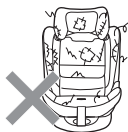
本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車のドアや自動車の座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品に強い衝撃が加わったり損傷した場合、本製品を使用してはいけません。



中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は過去の履歴や保管状況や使用状況が不明なため、また劣化した本製品は強度等が劣る可能性があり、本製品が安全に機能しないおそれがありますので使用しないでください。

安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



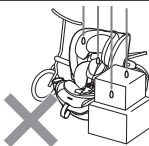
目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、チャイルドシート、ジュニアシートとしてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーキャリーとして使用するなど、本来の目的以外で使用すると、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で保管されていた場合は使用してはいけません。



⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



車室内にある、動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、本製品を使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、車室内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、ストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜お子さまを本製品から降ろして自由に動けるようにしてあげてください。

また、運転の安全のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

長期間使用しない場合は、本製品を自動車から出しておくこと

自動車内の環境により、樹脂部品などの劣化が進むおそれがあります。

お手入れは適切な方法で行うこと

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に潤滑油を使用してはいけません（特に可動部、接合部）。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。



疑問がある場合、販売店、チャイルドシートメーカーにお問い合わせください

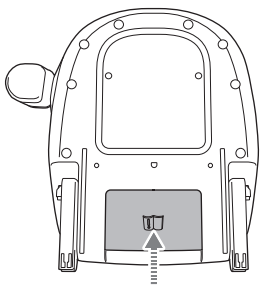
補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合、上に他の物を載せないようにしてください。

本書は本製品の所定の場所に収納して常時携帯すること

必要なときにいつでも参照できるように本書はベースの底面にあるコンパートメントに差し入れておいてください。



ベース底面にあるコンパートメントに
本書を差し入れておいてください

重要

使いかた

サイドインパクトプロテクション (SIP) の使いかた

本製品には事故時などに生じる側面からの衝撃を緩和する安全機構のサイドインパクトプロテクション (SIP) が 2 個同梱 (1 個は予備) されています。

SIP は、お子さまを乗せて使用する状態で本製品シートの自動車のドア側に取り付けてください。

実際にご使用になる前に SIP を取り付けてみて、ドアの開閉に干渉しないかを確認してください。SIP がドアにあたったり、干渉する場合は取り外して本製品を使用してください。

ポイント!

SIP は 2 個同梱されていますが 1 個は予備となります。2 個同時に使用することはできません。

注意

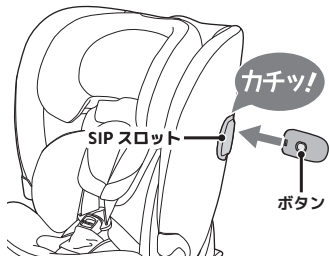
中央席側 (他の乗員側) には取り付けないでください

SIP は、自動車のドア側になるように取り付けます。中央席側に取り付けると、事故や衝撃を受けた際に中央席側の乗員に SIP があたるなどして、ケガをするおそれがあります。

01

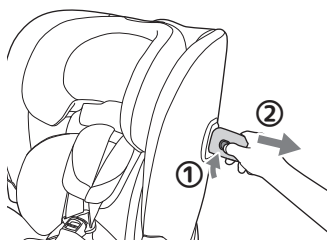
SIPを取り付けるには、SIPを取り付ける側のSIPスロットに、SIPのボタンを手前側にして差し込みます（シートを前側から見た状態の手前側です）。

「カチッ」と音がして、SIPが固定されたことを確認してください。



02

取り外すには、SIPのボタンを①押ししながら、②引き抜きます。



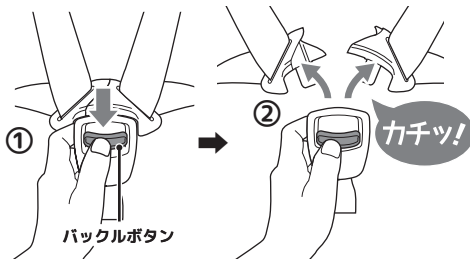
バックルの使いかた

ハーネスモードで使用する場合は、お子さまは本製品のバックルを使用してハーネスを装着します。ブースターモードで使用する場合、ハーネス、バックルは使用せず、シェル、ベース内にそれぞれ格納します。

バックルの外しかた

01

バックルを外すには、バックルを握って①バックルボタンを押し下げます。②「カチッ」と音がして、差し込みタンクが外れます。



⚠注意

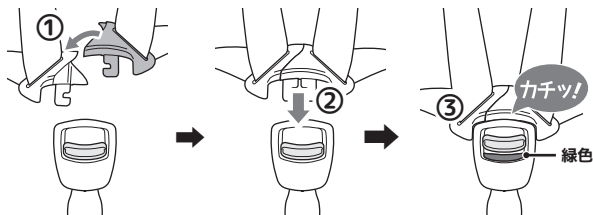
バックルは握って操作してください

直接バックルボタンを押下すると、お子さまの腹部を圧迫するおそれがあります。お子さまに負担のないようにバックルを握って操作してください。あらかじめハーネスを少しゆるめて操作すると、よりお子さまへの負担を減らすことができます。

バックルの留めかた

01

バックルを留めるには、①左右の差込みタングを重ねて、②そのまま受けバックルに差し込み、③「カチッ」と音がするようにしてバックルを留めます。バックルが正しく留まると、バックルボタンの下に緑色のインジケーターが現れます。



02

軽く肩ベルトを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

インサートの使いかた

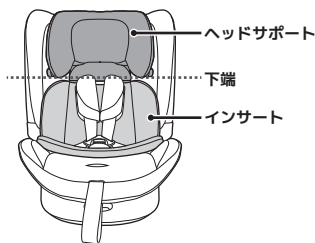
お子さまの肩の高さが、ヘッドサポートの下端よりも低い位置にある場合には、インサートを使用してください。（ご購入時はインサートが取り付けられています）



警告

ブースターモードではインサートを使用しないでください

お子さまの姿勢のズレにつながるおそれがありますので、ブースターモードの場合はインサートを使用しないでください。



インサートの外しかた

01

あらかじめバックルを外して、ハーネスをゆるめておきます。

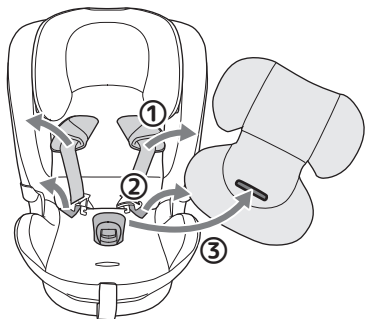
参照 P26 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

ポイント!

ハーネスをゆるめないと、インサートの取り外しは困難です。

02

①左右の肩ベルトと②左右の腰ベルトをインサートの隙間から抜き取り、③股ベルト（股ベルトパッド、受けバックル）をインサートの通し穴から抜いて取り外します。



ポイント!

股ベルトパッドを取り外すと操作しやすくなります。ただし股ベルトパッドを取り外した場合は、必ず正しい状態で取り付けなおしてください。

参照 P63 ▶カバー類、パッド類の取り外しかた
▶股ベルトパッド

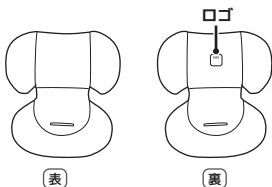
03

インサートの取り付けは逆の手順で行います。

ハーネスを十分にゆるめて、インサートが浮かないようにしっかりと奥に押し込むようにしてください。

ポイント!

インサートは、ロゴがプリントされていない側を表にして使用します。



カップホルダー

飲み物などを入れておくカップホルダーが付属しています。本製品の座面外側、左右いずれかに取り付けて使用しますが、自動車のドア側には取り付けないでください。

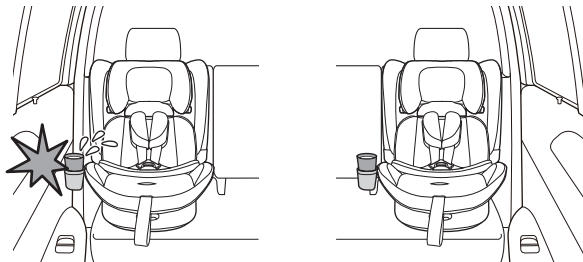
警告

カップホルダーに熱い飲料を入れないこと

自動車の揺れや制動、走行時の振動により中身の飲料がこぼれ、ヤケドや汚損のおそれがあります。カップホルダーには蓋をしたペットボトルなどの飲料を入れてください。

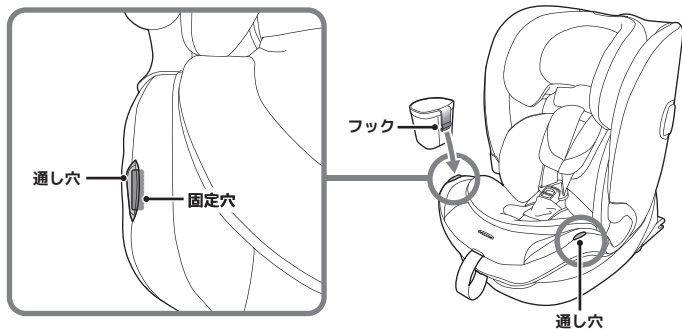
ポイント!

カップホルダーをドア側の座席に取り付けると（右ハンドル車の場合は運転席後ろの座席）、ドアの開閉の振動や干渉により、ドアがカップホルダーにあたり、カップホルダーの中身がこぼれるおそれがあります。このような場合、カップホルダーは中央席側に取り付けてください。



01

カップホルダーのフックを、シートカバーの通し穴から差し入れて、本体の固定穴に差し込んでください。しっかりと最後まで差し込むようにします。



⚠注意

通し穴に通すだけでは固定されません

カップホルダーのフックをシートカバーの通し穴に通すだけでは、カップホルダーが固定されず、落下するおそれがあります。フックは、必ず本体の樹脂部分にある固定穴に差し込むようにしてください。

02

取り外す場合、カップホルダーの底面を押し上げてフックを抜いて取り外します。

肩ベルト（ハーネス）の長さ調節 ※ハーネスモードのみ

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じて肩ベルト（ハーネス）の長さを調節します。

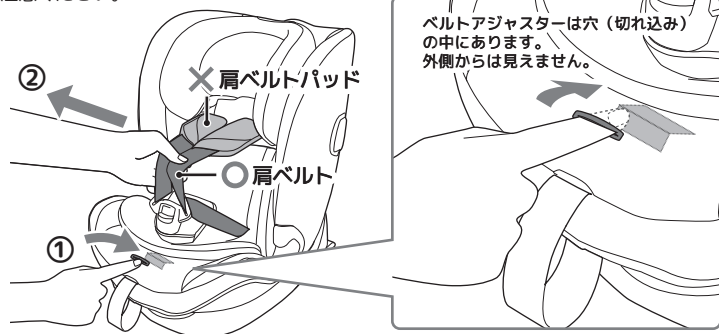
⚠危険

肩ベルト（ハーネス）の長さは適切に調節すること

肩ベルト（ハーネス）は必ず適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎていたり、ゆるんでいたりすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

01

肩ベルトをゆるめるには、①シートの前端的のベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②肩ベルトを持って、ゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。



02

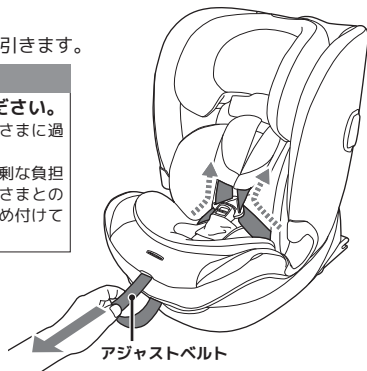
肩ベルトを締めるにはアジャストベルトを引きます。

⚠注意

アジャストベルトはゆっくりと引いてください。

勢いよく強くアジャストベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。

またハーネスが締めすぎると、お子さまに過剰な負担が掛かるおそれがあります。肩ベルトは、お子さまとの間に大人の方の手のひらを差し込める程度に締め付けてください。

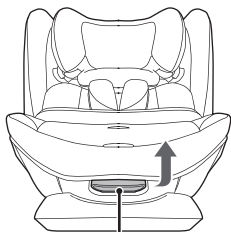


リクライニングの使いかた

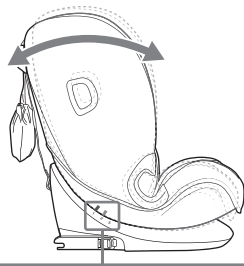
リクライニング（3段階）を切り替えることにより、シートの背もたれの角度を変更することができます。ハーネスモード、ブースターモードとも3段階で調節可能です。

01

シェルの座面前端部のリクライニングレバーを引き上げて、シェルのリクライニング角度を3段階で調節します。目的の角度でリクライニングレバーから手を放すと固定されます。

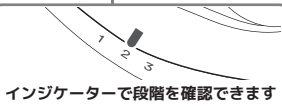


リクライニングレバー



ポイント!

リクライニングレバーはシェルの先端部にあります。リクライニングレバーの下には ISOFIX アジャストレバーがありますので、間違わないようにしてください。



インジケーターで段階を確認できます

ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節

ヘッドサポートと肩ベルトの高さ調節は連動しています。

ヘッドサポートの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。

ハーネスモードを使用する場合は本製品の肩ベルトの高さ、ジュニアモードで使用する場合は自動車のシートベルトの肩ベルトを通す肩ベルトガイドの高さが連動して調節されます。いずれのモードでも高さ調節の操作方法は同様です。

お子さまの成長に合わせて、ヘッドサポートと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

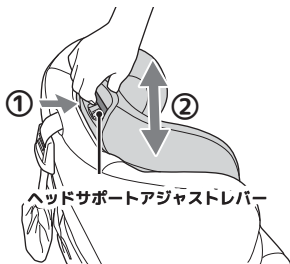
⚠危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、使用するモードおよびお子さまの体格や月齢に合わせて、必ず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

01

ヘッドサポートの高さは12段階で調節できます。ヘッドサポート上端の①ヘッドサポートアジャストレバーを引き上げて、②ヘッドサポートを上下に調節します。目的の高さでヘッドサポートアジャストレバーから手を離すと、その高さでヘッドサポートが固定されます。



02

ヘッドサポートを軽く上下に動かして、しっかりと固定されていることを確認してください。

ポイント!

ハーネスが短い状態に調節されているとヘッドサポートが上方方向に動かしにくくなります。この場合はハーネスをゆるめてください。

参照 P26 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶01

ハーネスモードで使用する

ハーネスモードでは、本製品を ISOFIX コネクターおよびトップテザーで自動車の座席に固定して、お子さまは本製品のハーネスを装着して使用します。



使用可能なお子さまの条件

身長：76cmから105cmまで

体重：22kg以下

年齢：生後15ヵ月を超えてから使用可能※
～およそ4歳頃まで

※生後15ヵ月を超えるまでは本製品を使用しないでください。

⚠危険

生後15ヵ月を超えるまでは本製品を使用しないこと
例え身長、体重が条件を満たしていたとしても、生後15ヵ月を超えるまでは本製品を使用してはいけません。

使用する向き	自動車の進行方向に対して前向き
座席への取り付け方法	ISOFIX+トップテザー
お子さまの固定方法	本製品のハーネス
使用可能なリクライニングポジション	1~3

ハーネスモードでは、あらかじめ本製品を ISOFIX 固定装置、トップテザーにより自動車の座席に固定しておく必要があります。

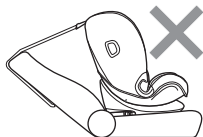
以下の指示に従って正しく固定してください。

本製品の取り付け

⚠危険

座席の背もたれを倒した状態で使用しないでください

お子さまを適切に保護することができません。背もたれの角度がシェルの角度と近くなるように、背もたれのリクライニングを適切に調節してください。



⚠警告

お子さまを近づけないようにして作業すること

安全のため、取り付け、取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

⚠注意

お子さまを乗せた状態で取り付け、取り外しをしないこと

本製品が落下したり思わぬ動きをして事故につながるおそれがあります。

座席に取り付け痕およびキズがつくことがあります

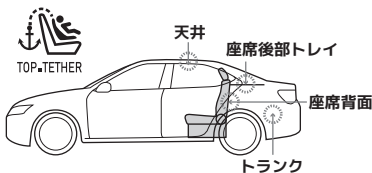
本製品を正しく取り付けることにより、自動車の座席の表面に取り付け痕が残ったり、キズが発生する事があります。あらかじめご了承ください。

お子さまを乗せていない状態でも本製品を正しく座席に固定すること

本製品は、お子さまを乗せていない状態でも本書の指示に従い、常に正しく座席に取り付けて固定しておいてください。

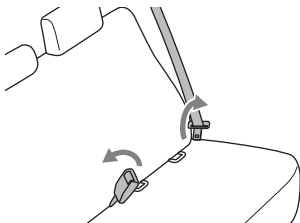
01

ハーネスモードの場合のみ、自動車のトップテザーアンカーを使用します。トップテザーアンカーの位置は、車種により異なります。自動車の取扱説明書で取り付ける座席のトップテザーアンカーの位置をあらかじめ確認しておきます。



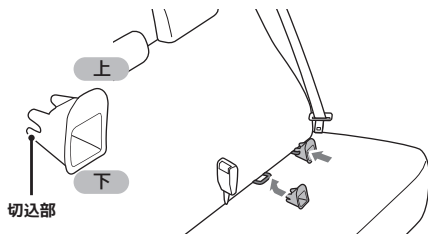
02

本製品を取り付ける座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



03

ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定装置に差し込みます。
ISOFIX ガイドには左右はありますが、上下がありませんので上下を間違わないように注意して、切込部を ISOFIX 固定装置に差し込むようにして左右とも取り付けてください。



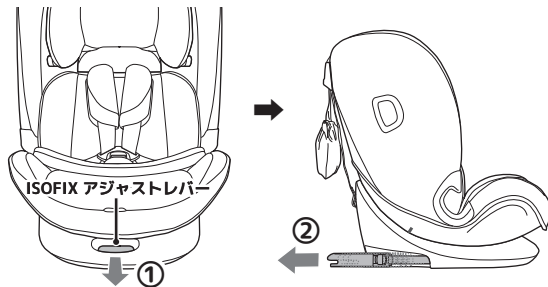
ポイント!

ISOFIX 固定装置は、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISOFIX 固定装置が見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISOFIX 固定装置にカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

車種によっては、ISOFIX ガイドに類するカバーが取り付けられているなど、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定装置の周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

04

ベース先端部の① ISOFIX アジャストレバーを手前に引いて、② ISOFIX コネクターを最後まで引き出しておきます。ISOFIX コネクターは左右連動しているので、いずれか一方を引き出すと、左右とも引き出されます。



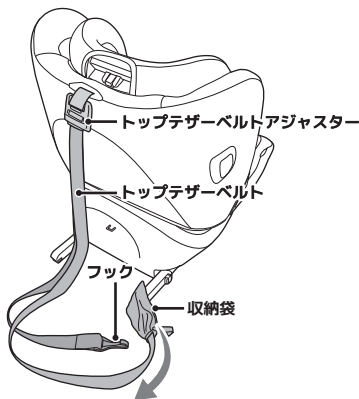
05

本製品を取り付ける座席の上に置き、収納袋からトップテザー（トップテザーベルト、フック）を出しておきます。

注意

フックに注意すること

ケガをしたり、自動車や物品にキズを付けるおそれがあります。金属製のフックが、人や物、自動車などにあたらないよう、本製品を座席に置いてからトップテザーを取り出してください。

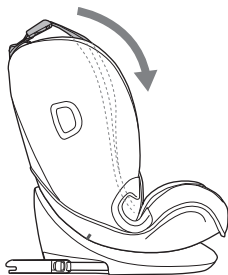


06

トップテザー（トップテザーベルト、フック、収納袋）をシートに乗せるようにして前側に垂らしておきます。

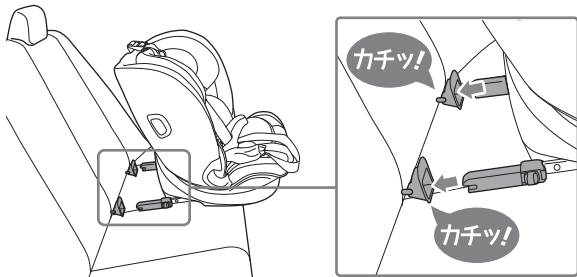
ポイント!

トップテザーをシェルの背面にしておく、この次の操作により、トップテザーがシェルの背面に挟まれて取り付け操作がしにくくなります。トップテザーはシート側に垂らしておいてください。



07

左右の ISOFIX コネクターを、それぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。「カチッ」と音がして ISOFIX 固定装置に固定されるまでしっかりと差し込んでください。

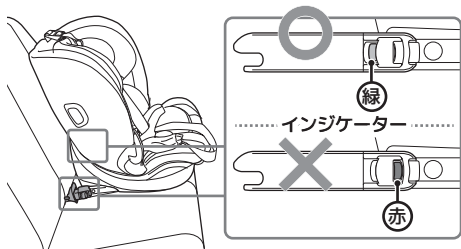


👉ポイント!

座席の生地によっては、摩擦により ISOFIX コネクターが本体側に押し戻されることがあります。その場合 ISOFIX コネクターを持つなどして、ISOFIX コネクターを少し浮かせた状態にして差し込んでください。

08

左右の ISOFIX コネクターのインジケーターが両方とも完全に緑色になっていることを確認してください。どちらか一方でも赤色の状態では、本製品が正しく固定されていません。本製品を手前に引いてみて、ISOFIX コネクターが抜けたり、インジケーターが赤色になったりしないことを確認してください。



⚠危険

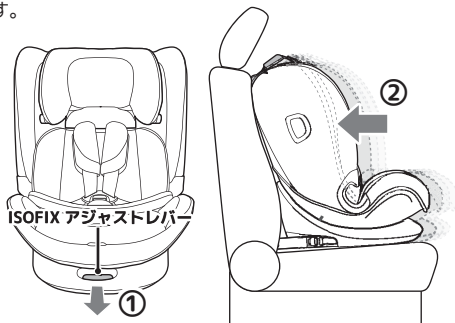
確実に ISOFIX コネクターを固定すること

左右の ISOFIX コネクターが確実に ISOFIX 固定装置に取り付けられていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が自動車の座席から外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ISOFIX コネクターの左右のインジケーターのいずれか一方でも緑色になっていない場合、本製品は正しく取り付けられていない状態ですので、固定時に左右とも「カチッ」と音がして、かつ、左右両方のインジケーターが緑色になるよう取り付けなおしてください。

09

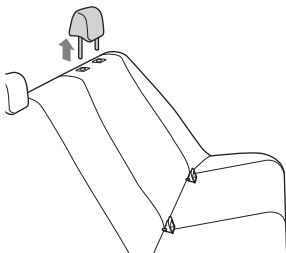
① ISOFIX アジャストレバーを引いて、②本製品を自動車の座席の背もたれ側にしっかりと押し込みます。



10

ヘッドレストが装備されていて、かつ取り外し可能な座席の場合、必要に応じてヘッドレストを取り外しておきます。

高さの調節が可能で、かつトップテザーをヘッドレストと座席の背もたれの間を通す事ができる場合は、トップテザーが通る程度に高くしておきます。取り外した場合は、ヘッドレストはそのままにせず、車室内から出してトランクの中など、安全な場所に保管しておいてください。



⚠注意

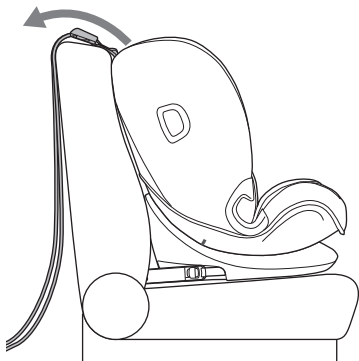
トップテザーの取り付け痕が残ります

本製品のようなトップテザーを使用するチャイルドシートの場合、チャイルドシートを正しく取り付けることによって座席の上部やヘッドレストにトップテザーベルトによる取り付け痕（キズ、凹みなど）が残ります。あらかじめご了解の上ご使用ください。

11

トップテザー（トップテザーベルト）を、座席の後方（トップテザーアンカー側）に回します。

図では座席背面側に回していますが、車種によってトップテザーアンカーの位置は異なります。

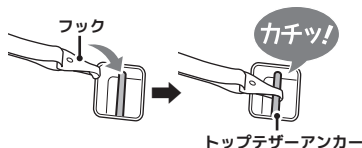


👉ポイント!

ヘッドレストの調節、取り外しができない場合は、ヘッドレストの上を通します。また、座席後部トレイにトップテザーアンカーが装備された座席の場合や一部の車種では、トップテザーベルトをヘッドレストの上を通さないと正しくトップテザーの取り付けができない場合があります。

12

トップテザーベルトをねじらないように注意して、フックをトップテザーアンカーにしっかりと固定します。



⚠警告

トップテザーベルトをねじらないようにすること

トップテザーベルトにねじれがあると、本製品が安全に機能しないおそれがあります。トップテザーベルトをねじらずに、トップテザーアンカーに取り付けてください。

ポイント!

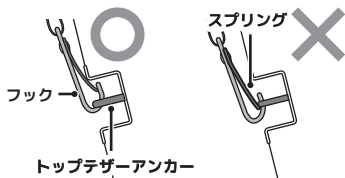
フック側のベルトが短く、フックがトップテザーアンカーに届かない場合はフック側のベルトをゆるめてください。

参照 P36 ▶本製品の取り外し▶ 01

13

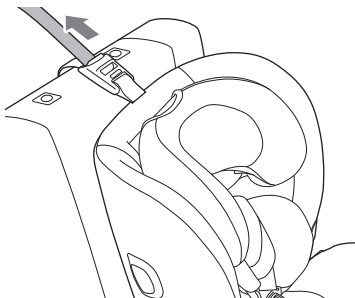
トップテザーがトップテザーアンカーに正しく取り付けられているか確認します。

トップテザーのフックのスプリングがトップテザーアンカーに掛かっていないことを確認してください。トップテザーアンカーの使用に関しては、必ず自動車の取扱説明書を併せてご確認ください。



14

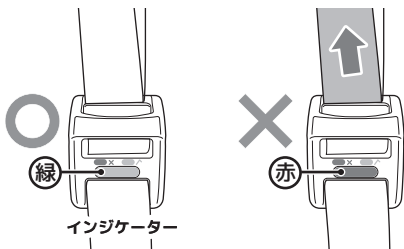
上側のトップテザーベルト（フックの付いていない方のベルト）を強く引きます。強く引くほど、トップテザーは強く固定されます。



15

トップテザーベルトから手を離れた状態で、トップテザーベルトアジャスターのインジケーターが緑色になっていることを確認します。インジケーターが赤色の場合は、インジケーターが緑色になるまで上側のトップテザーベルトをさらに引きます。

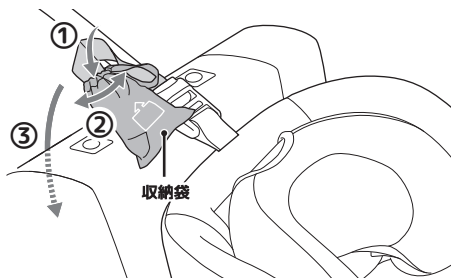
トップテザーベルトから手を離しても、インジケーターが緑色のままであれば正常な状態です。



16

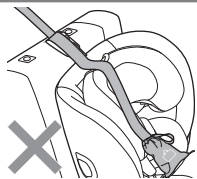
余ったトップテザーベルトを束ねて収納袋に入れて口を閉じておきます。収納袋はお子さまの邪魔にならないよう、自動車の座席の裏側、後ろ側にしておいてください。

余ったトップテザーベルトをお子さま側に垂らしたりしないでください。



警告

トップテザーベルトの余長部をお子さま側に垂らさないこと
お子さまが絡まったり、引っ掛かったりするなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。余ったトップテザーベルトは、折りたたんで収納袋に入れ、収納袋の口をしっかりと閉じて座席の裏側、後ろ側になるようにしておいてください。

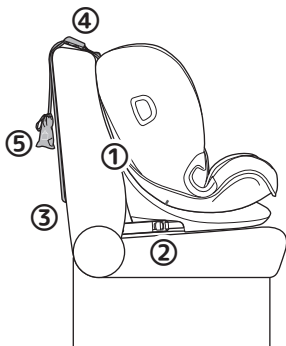


17

以下のチェックリストを確認します。一つでも適切でない部分がある場合は、もう一度取り付けなおしてください。

Check!

- ① 本製品がしっかりと座席の背もたれ側に押し込まれていること。
- ② 左右の ISOFIX コネクターが正しく ISOFIX 固定装置に固定されていて、左右の ISOFIX コネクターのインジケーターがいずれも緑色になっていること。
- ③ トップテザーのフックが正しくトップテザーアンカーに固定されていること。トップテザーベルトにねじれがないこと。
- ④ トップテザーベルトアジャスターのインジケーターが緑色になっていること。
- ⑤ トップテザーベルトの余長部がお子さま側（本製品の座面方向）に垂れていないこと（収納袋に収納されて座席の裏、後方になっていること）。

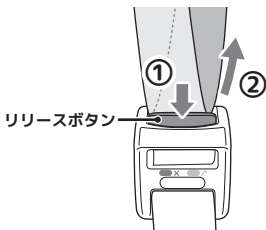


本製品の取り外し

長期間使用しない場合は、自動車の座席から取り外して車外で保管するようにしてください。

01

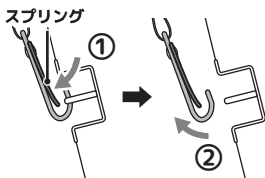
①トップテザーベルトアジャスターのリリースボタンを押して、②下側のトップテザーベルト(トップテザーアンカーに取り付けられている方のベルト)を引き、トップテザーベルトをゆるめます。



02

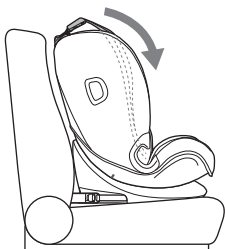
①トップテザーのフックのスプリングを押し上げて、②フックをトップテザーアンカーから取り外します。

ポイント!
トップテザーベルトがゆるんでいないと、フックの取り外し操作ができません。



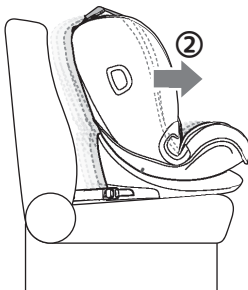
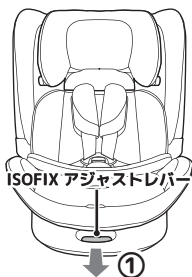
03

トップテザー(トップテザーベルト、フック、収納袋)をシートに乗せるようにして前側に垂らしておきます。



04

① ISOFIX アジャストレバーを引いて、②本製品を前方向に引き出しておきます。



05

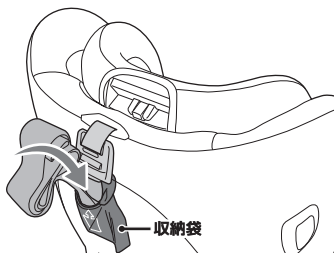
フックを包むようにしてトップテザーベルトをたたみ、収納袋に収めて口をしっかりと閉じておきます。



注意

フックの取り扱いに注意すること

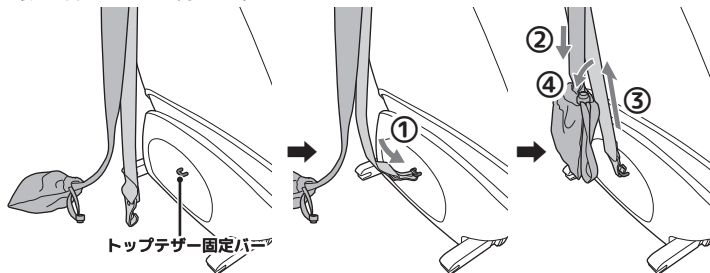
ケガをしたりモノ、自動車にキズを付けるおそれがあります。金属製のフックが、人やモノ、自動車などにあたらないよう、取り外したトップテザーベルトとフックは収納袋に入れておいてください。



ポイント!

ベース背面のトップテザー固定バーに、トップテザーのフックを固定してトップテザーを収納することもできます。

①トップテザーのフックをトップテザー固定バーに取り付けます。②収納袋側のトップテザーベルトを引いて③トップテザーベルトを締め付けます。④余長のトップテザーベルトをたたんで収納袋に収めて口をしっかりと閉じます。



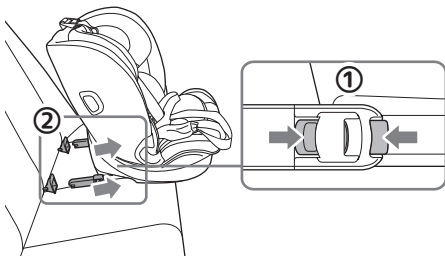
トップテザーのフックをトップテザー固定バーから取り外すには、トップテザーベルトアジャスターのリリースボタンを操作してトップテザーベルトをゆるめてから取り外します。

06

ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。左右のISOFIX コネクターを同時に操作してください。①前後のリリースボタンを押してロックを解除して、② ISOFIX 固定装置からISOFIX コネクターを抜きます。

ポイント!

左右の ISOFIX コネクターを同時に操作しないと、ISOFIX コネクターの取り外しができません。



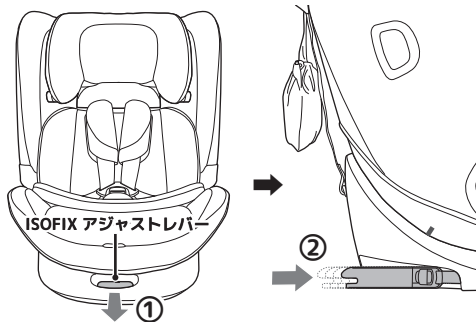
07

① ISOFIX アジャストレバーを手前に引いて、② ISOFIX コネクターを最後まで押し込んでベースに格納してください。取り外したら本製品を自動車から出します。

⚠注意

ISOFIX コネクターをベースに格納しておくこと

本製品の破損やケガの原因となります。本製品を座席から取り外した際には、ISOFIX コネクターを本製品のベース側に完全に格納しておいてください。



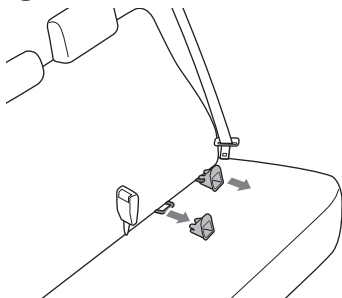
08

ISOFIX ガイドを取り外します。ISOFIX ガイドをなくさないよう、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。座席のヘッドレストを取り外した場合は、座席に取り付けなおしてください。

⚠注意

ISOFIX ガイドは取り外しておくこと

ISOFIX ガイドの紛失や破損、また乗員のケガの原因になります。ISOFIX ガイドは、必ず座席から取り外した上、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。



お子さまの乗せかた

あらかじめ、以下のチェックリストを確認してください。

Check!

① 必要に応じてインサートを着脱します。

参照 P23-24 ▶インサートの使いかた

② 本製品が正しく自動車の座席に取り付けられていることを確認します。

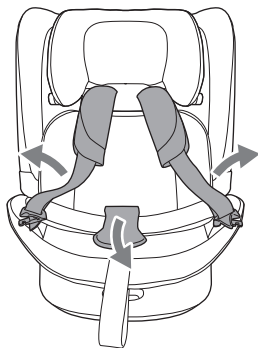
参照 P35 ▶本製品の取り付け▶ 17 チェックリスト

③ サイドインパクトプロテクションを取り付けます（または、取り外します）。

参照 P22 ▶サイドインパクトプロテクション (SIP) の使いかた▶ 01-02

01

お子さまがハーネスの上に乗らないよう、ハーネスをゆるめてバックルを外し、肩ベルトを外に出して股ベルトを前方に倒しておきます。

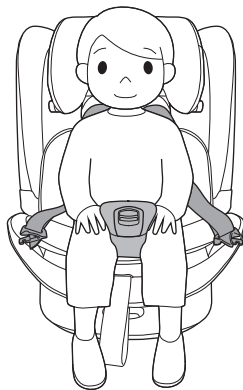


02

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。

ポイント!

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが、浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



03

ハーネスをゆるめて、肩ベルトの高さを調節します。

参照 P26 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

参照 P28 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節▶ 01-02

04

ヘッドサポートの高さを調節して、肩ベルトの位置を適切にします。

ハーネスモードの場合、肩ベルトは、**お子さまの肩の位置と水平**かまたは**肩の高さよりも高くかつ最もお子さまの肩の位置に近い高さ**に調節します。お子さまの肩の高さよりも低い位置や高すぎる位置の場合、お子さまがハーネスから抜けるおそれがあります。



⚠ 危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、かならず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

👉 ポイント!

肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、使用の都度、適切な高さになっているかを確認するようにしてください。またインサートを着脱した場合は必ず肩ベルトの高さを確認、調節してください。肩ベルトの高さは、お子さまの成長に合わせて適宜適切に調節してください。

05

左右の肩ベルトをお子さまの腕に通します。
肩ベルトがきつい場合はハーネスをさらにゆるめてください。

参照 P26 ▶ 肩ベルト（ハーネス）の長さ調節 ▶ 01



06

肩ベルトの高さが適切になっていることを確認します。
適切でない場合は、ヘッドサポートの高さを調節して適切な高さに調節しなおしてください。

参照 P28 ▶ ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節 ▶ 01-02

07

ハーネス（肩ベルト、腰ベルト、股ベルト）にねじれがないことを確認してください。腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るように調節して「カチッ」と音がするようにしっかりとバックルを留めます。

ポイント!

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、ハーネスをゆるめてからバックルを留めます。

参照 P26 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

⚠危険

腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すこと

腰ベルトが骨盤の上を通っていないと、事故や衝撃を受けた際に腹部や腿に過剰に負担が掛かり重大な事故につながるおそれがあります。

ハーネス、股ベルトをねじらないようにすること

ハーネス、股ベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。



⚠腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通す

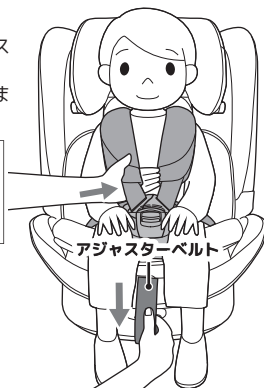
08

肩ベルトとお子さまの間に、掌を差し込んでアジャスターベルトをゆっくりと引いて締め付けます。差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれる程度まで締め付けるようにします。

ポイント!

締め付けすぎた場合は、ベルトアジャスターを使って、ハーネスをゆるめてから締めなおしてください。

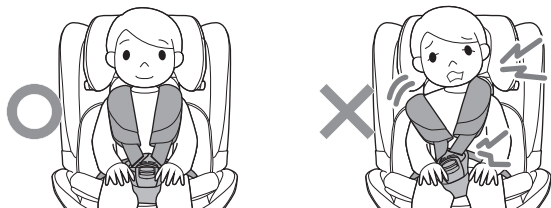
参照 P26 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01



09

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。

正しい状態になっていない場合は、肩ベルトの高さと、肩ベルトと腰ベルトの位置を調節して、肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の位置を通るようにしてください。



⚠危険

ハーネスは適切に調節すること

肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを勢いよく引っ張らないでください。

ハーネスは強く締まるほど、お子さまの保護も強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締め付けがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず、適切な強さで締め付けるようにしてください。

ハーネスは正しい状態で使用すること

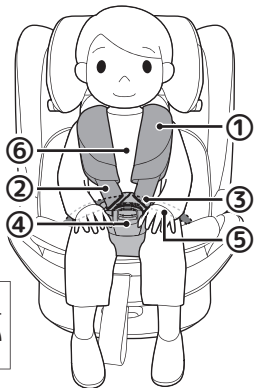
ハーネスは必ず正しい状態で装着してください。ハーネスがゆるんでいたり、肩ベルトが腕の位置や脇の下、頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていたりすると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか、通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスは必ず正しい状態にして、使用中もハーネスがずれたり、ゆるんだりしていないか適宜確認するようにしてください。

10

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっていることを確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

Check!

- ① 肩ベルトの高さが適切に調節されていること。
- ② ハーネスが適切に締め付けられていること。
- ③ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと。
- ④ バックルがしっかりと留まっていること。
- ⑤ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。
- ⑥ お子さまが正しい姿勢で座っていること。



ポイント!

本製品のバックルは、お子さまには外しにくいように設計されていますが、安全のためお子さまにはバックルに触れないように言い聞かせるようにしてください。

11

お子さまを降ろす場合は、バックル（ハーネス）を外してお子さまの腕を抜き、ハーネスに引っ掛かったりしないよう注意して、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

ブースターモードで使用する

⚠危険

身長 105cm を超えたらハーネスモードでは使用しないこと
身長 100cm を越えるまではブースターモードでは使用しないこと
各モードの使用可能な条件をお守りください。

⚠警告

お子さまを乗せて使用していない場合に安全を確認してください

ハーネスモードとは異なり、ブースターモードの場合は座席の3点式シートベルトのみで 사용할ことができます。この場合、お子さまが使用していない状態では本製品は自動車の座席に固定されていません。お子さまが使用していない場合、本製品を車内に置かず、車外に出して保管するか、または本製品が自動車の使用中に移動しないように適切な方法で固定しておいてください。また、本製品はブースターモードでも ISOFIX コネクターで座席に固定して使用することもできます。この場合はお子さまが乗っていない状態でも本製品は自動車の座席に安全に固定されますが、長期間に渡って使用しない場合は、本製品を取り外して安全に保管してください。

お子さまは、自動車の3点式シートベルトを装着して固定します。
 ISOFIX 固定装置を装備した座席では、ISOFIX コネクターで座席に固定して使用することもできますが、この場合も、お子さまは自動車の3点式シートベルトを装着して固定します。



使用可能なお子さまの条件

身長：100cmから150cmまで
 体重：36kg以下
 年齢：3.5歳頃～12歳頃まで使用可能*

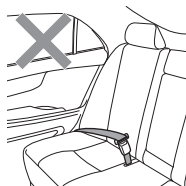
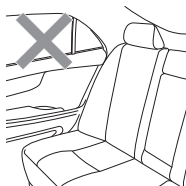
※「年齢」は使用可能期間の目安となります。
 身長および体重で使用可能期間は定められています。

👉ポイント!
 ブースターモードではトップテザーは使用しません。

使用する向き	自動車の進行方向に対して前向き
座席への取り付け方法	自動車の3点式シートベルト ISOFIXコネクターを併用することができます
お子さまの固定方法	自動車の3点式シートベルト
使用可能なリクライニングポジション	1~3

座席の確認

ブースターモードでは、お子さまは3点式シートベルトを装着します。3点式シートベルトを装備した座席でご使用ください。2点式、5点式シートベルトなど、3点式シートベルト以外のシートベルトや他の方法を用いて使用することはできません。



👉ポイント!

以下は、自動車を正面から見て右側の座席で本製品を使用する場合を説明しています（右ハンドルの助手席後ろ座席）。左側の座席で使用する場合は、左右が逆になりますのでご注意ください。

ブースターモードへの切り替え

ブースターモードで使用するには、所定の準備が必要となります。ハーネスモードの状態のままブースターモードで使用することはできません。

また、自動車の座席に取り付けた状態では本製品をブースターモードに切り替えることはできませんので、自動車の座席から取り外して操作してください。

👉ポイント!

ブースターモードでは、本製品のハーネス、トップテザー、インサートを使用することができません。これらをあらかじめシェル内と収納袋に収納、取り外しをしておきます。

01
トップテザーベルト、フックを収納袋に収めて口をしっかりと閉じておきます。

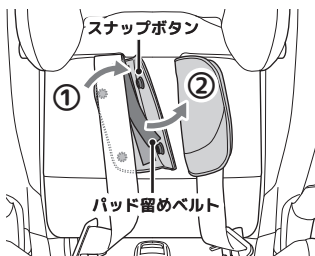
参照 P36-37 ▶本製品の取り外し▶01-05

02
バックルを外して、股ベルトパッド、インサートを取り外しておきます。取り外した股ベルトパッド、インサートは無くさないようお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

参照 P23-24 ▶インサートの使いかた

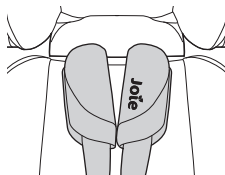
参照 P63 ▶カバー類、パッド類の取り外しかた▶股ベルトパッド

03
肩ベルトパッドを取り外します。①肩ベルトパッドを留めているスナップボタン（2カ所）を外して、②肩ベルトパッドを留めているパッド留めベルト（パッド留めベルトは、肩ベルトの下に重ねられています）の面ファスナーを外して取り外します。左右とも同じようにして取り外してください。



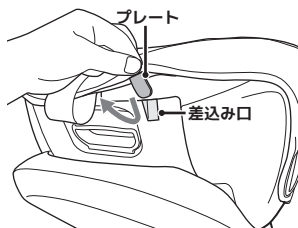
👉ポイント!

取り付ける場合は、逆の手順で行います。肩ベルトパッドには左右がありますのでご注意ください。本製品を正面から見た際に Joie のロゴが右図の状態になるようにして取り付けてください。



04

シエルの先端部（座面先端部）の左右に差し込んであるシートカバーのプラスチックのプレートを外します。左右とも外してください。



05

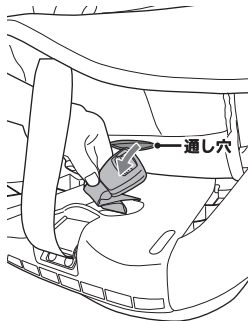
シートカバーをめくり上げて、受けバックルをシートカバーの通し穴から抜きます。

⚠ 注意

アジャスターベルトは通し穴から抜かないでください
肩ベルトパスの高さ調節の際に、ベルトアジャスターの操作が必要になる場合があります。

👉 ポイント!

操作しにくい場合は、アジャスターベルトの長さを調節してください。

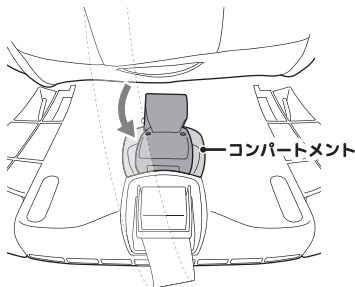


06

受けバックルを、ベース座面部分のコンパートメント（凹み部）に、図のように収納します。

07

04を逆手順で行い、プラスチックのプレートを左右とも差し込んでシートカバーを元通りに被せておきます。



08

①ハーネスをゆるめて、ヘッドサポートを引き上げておきます。

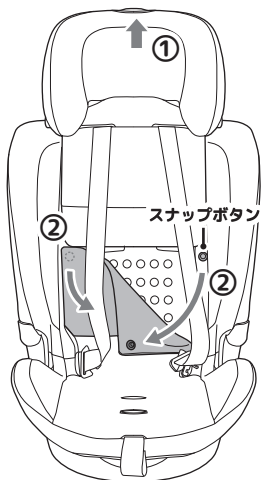
参照 P26 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶01

参照 P28 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節▶01-02

ポイント!

ハーネスがゆるんでいないと、ヘッドサポートを引き上げることができません。

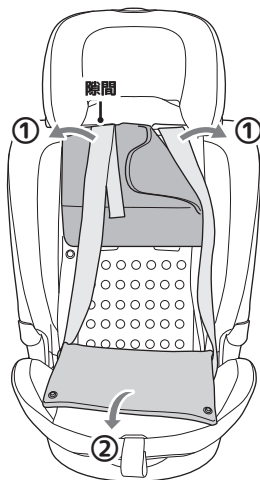
②シェルの背もたれ部に留めてあるスナップボタンを外します。左右2カ所とも外しておいてください。



09

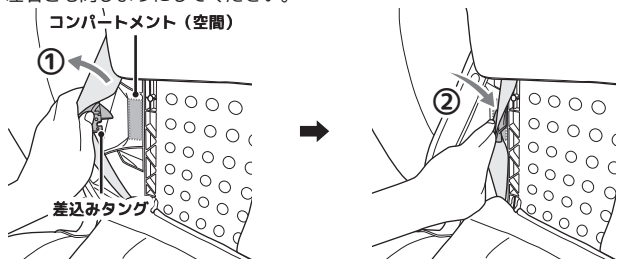
①ヘッドサポート下部、背もたれ部の隙間から肩ベルトとパッド留めベルトを抜き、裏側に回しておきます。

②08でスナップボタンを外したシェルの背もたれ部を前方に倒しておきます。



10

①シートカバーの背面横部(08 でスナップボタンを外した部分)を外側に開いてコンパートメント(空間)を出します。②コンパートメントに、差込みタンクを押し込んでおきます。左右とも同じようにしてください。



11

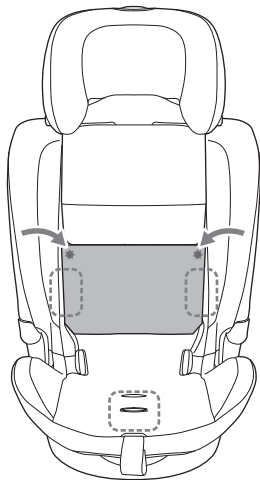
ハーネス、差込みタンクをシートカバーの裏側にしたまま、左右のスナップボタンを留めます。受けバックル、差込みタンクを収納した部位に出っ張りが無いことを確認してください。出っ張りがある場合は、受けバックル、差込みタンクをもう一度所定の場所に収納しなおしてください。

ポイント!

差込みタンクの出っ張りが解消できない場合は、ベルトアジャスターを使ってハーネスの長さを調節してください。

12

これでブースターモードで使用する準備ができました。ブースターモードからハーネスモードに戻す場合は逆の手順で操作してください。



本製品の取り付け、設置

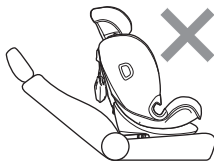
ブースターモードでは、自動車の3点式シートベルトのみで使用する場合は自動車の座席への固定操作はありません。本製品を正しい位置に置き、3点式シートベルトを所定の方法でお子さまに装着して使用します。

ISOFIX 固定装置が装備された座席の場合は、ISOFIX 固定装置を併用することができます。

⚠危険

座席の背もたれを倒した状態で使用しないでください

お子さまを適切に保護することができません。背もたれの角度がシェルの角度と近くなるように、背もたれのリクライニングを適切に調節してください。



⚠警告

トップテザーを使用しないこと

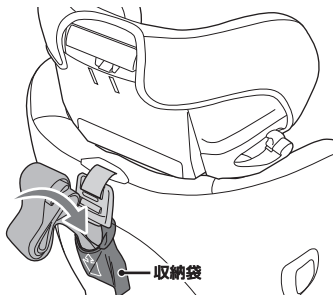
3点式シートベルトのみでの使用、ISOFIX 固定装置を併用して使用する場合、いずれにおいてもブースターモードでは、トップテザーは使用できません。トップテザーベルトとフックは収納袋に正しく収納しておいてください。

トップテザーベルト、フックが出ている場合は、フックを包むようにしてトップテザーベルトをたたみ、収納袋に収めて口をしっかりと閉じておきます。

👉ポイント!

ベース背面のトップテザー固定バーに、トップテザーのフックを固定してトップテザーを収納することもできます。

参照 P37 ▶本製品の取り外し▶05



ISOFIX を使用する場合の取り付け

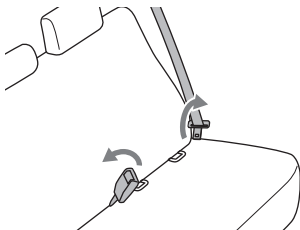
ISOFIX 固定装置を使用する場合は、あらかじめ本製品を自動車の座席に固定しておきます。

👉ポイント!

3点式シートベルトのみで使用する場合、この操作は必要ありません。

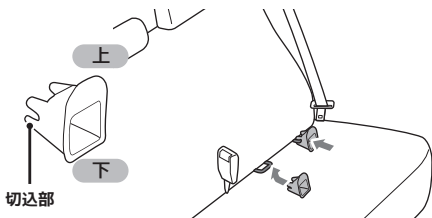
01

本製品を取り付ける座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタンクやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



02

ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定装置に差し込みます。ISOFIX ガイドには左右はありませんが、上下がありますので上下を間違わないように注意して、切込部を ISOFIX 固定装置に差し込むようにして左右とも取り付けてください。



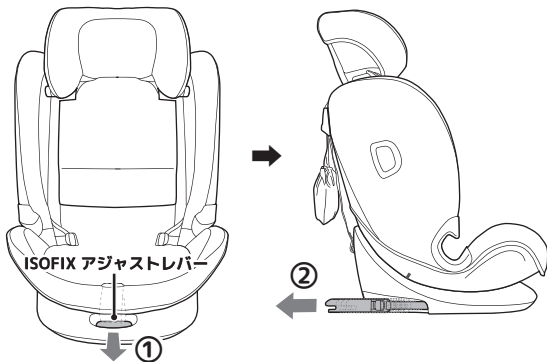
ポイント!

ISOFIX 固定装置は、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISOFIX 固定装置が見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISOFIX 固定装置にカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

車種によっては、ISOFIX ガイドに類するカバーが取り付けられているなど、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定装置の周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

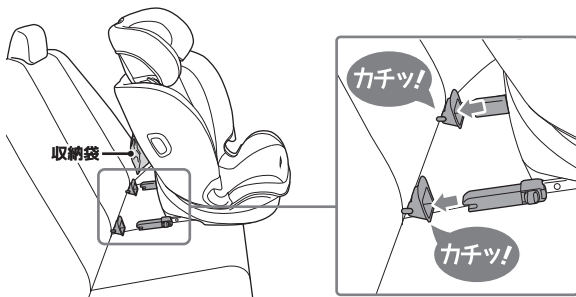
03

ベース先端部の① ISOFIX アジャストレバーを手前に引いて、② ISOFIX コネクターを最後まで引き出しておきます。ISOFIX コネクターは左右連動しているのです、いずれか一方を引き出すと、左右とも引き出されます。



04

左右の ISOFIX コネクターを、それぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。
トップテザーの収納袋は、シェルの背面側にしておいてください。
「カチッ」と音がして ISOFIX 固定装置に固定されるまでしっかりと差し込んでください。

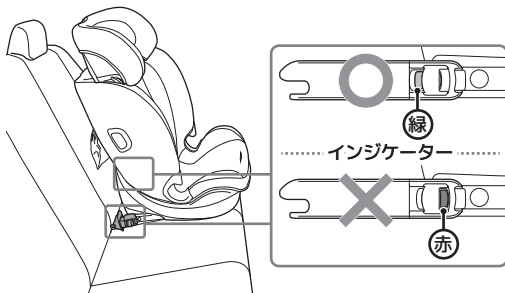


ポイント!

座席の生地の仕様によっては、摩擦により ISOFIX コネクターが本体側に押し戻されることがあります。その場合 ISOFIX コネクターを持つなどして、ISOFIX コネクターを少し浮かせた状態にして差し込んでください。

05

左右の ISOFIX コネクターのインジケーターが両方とも完全に緑色になっていることを確認してください。どちらか一方でも赤色の状態では、本製品が正しく固定されていません。本製品を手前に引いてみて、ISOFIX コネクターが抜けたり、インジケーターが赤色になったりしないことを確認してください。

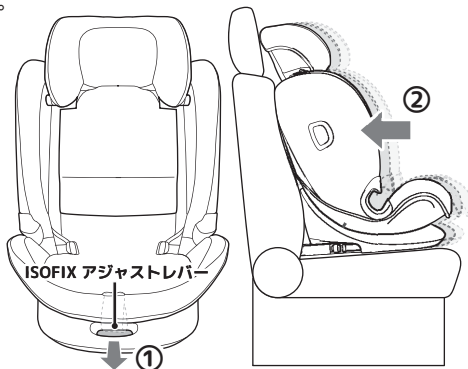


ポイント!

左右の ISOFIX コネクターが確実に ISOFIX 固定装置に取り付けられていないと、本製品にお子さまを乗せていない場合、事故や衝撃を受けた際に、本製品が自動車の座席から外れるおそれがあります。

06

① ISOFIX アジャストレバーを引いて、②本製品を自動車の座席の背もたれ側にしっかりと押し込みます。



07

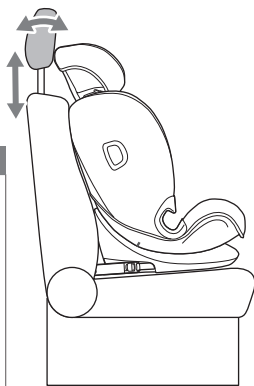
本製品を座席の背もたれ側に押し込んだ際、自動車の座席のヘッドレストがヘッドサポートに干渉する場合は、自動車の取扱説明書を確認して、ヘッドレストの高さや角度を調節するか取り外してください。ヘッドレストを取り外した場合は、そのまま車内に置かずトランクに保管するなどしてください。

警告

ヘッドレストに干渉した状態で使用しないこと

ヘッドサポートが自動車の座席のヘッドレストに干渉していると、本製品が正しく設置、固定、取り付けできず本製品や自動車の座席の破損につながるばかりではなく、本製品が所定の安全性能を発揮することができません。

特に、ヘッドサポートを高く調節した場合にヘッドレストへの干渉が生じやすくなりますので、ヘッドサポートの高さを調節する場合は特にご注意ください。



08

お子さまを乗せて使用します。
本製品の取り外しは逆の手順で行います。

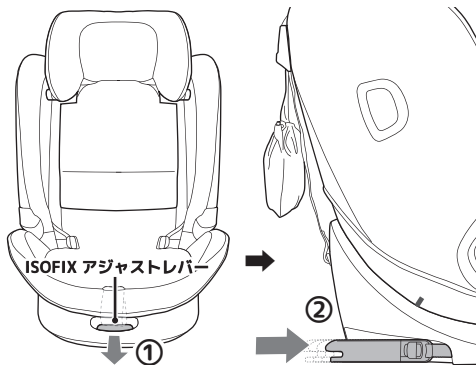
参照 P55-62 ▶お子さまの乗せかた

3 点式シートベルトのみで使用する場合の設置

本製品を座席に設置してお子さまを乗せ、自動車の3点式シートベルトを装着して使用します。

01

ISOFIX コネクターが引き出されている場合は、① ISOFIX アジャストレバーを手前に引いて、② ISOFIX コネクターを最後まで押し込んでベースに格納しておいてください。



⚠ 警告

3 点式シートベルトのみを使用する場合、ISOFIX コネクターはベースに格納しておいてください

ISOFIX コネクターが座席に干渉して本製品を安全に使用することができません。3 点式シートベルトのみで使用する場合は、ISOFIX コネクターをベースに格納しておいてください。

02

本製品を使用する座席に本製品を置きます。①ベースの底面がシート座面に、②シェル（ベース）の背部が背もたれに、それぞれ接するようにして座席の左右中央に置きます。本製品をシートベルトやその他のものの上に置かないように注意してください。



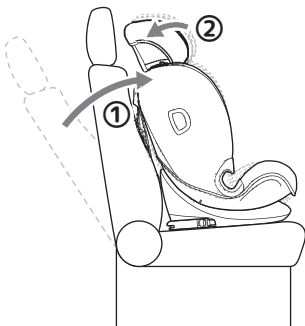
03

本製品のシェルの角度と座席の背もたれの角度を可能な限り近づけます。

①背もたれのリクライニングが可能な座席の場合は、本製品のシェルの角度に近くなるようにリクライニングを調節してください。

②背もたれのリクライニング機構のない座席の場合は、本製品のリクライニングを調節してシェルの角度を調節してください。

参照 P27 ▶リクライニングの使いかた



04

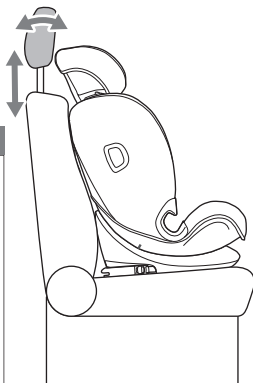
本製品を座席に置いた際、自動車の座席のヘッドレストがヘッドサポートに干渉する場合は、自動車の取扱説明書を確認して、ヘッドレストの高さや角度を調節するか取り外してください。ヘッドレストを取り外した場合は、そのまま車内に置かずトランクに保管するなどしてください。

警告

ヘッドレストに干渉した状態で使用しないこと

ヘッドサポートが自動車の座席のヘッドレストに干渉していると、本製品が正しく設置、固定、取り付けできず本製品や自動車の座席の破損につながるばかりではなく、本製品が所定の安全性能を発揮することができません。

特に、ヘッドサポートを高く調節した場合にヘッドレストへの干渉が生じやすくなりますので、ヘッドサポートの高さを調節する場合は特にご注意ください。



警告

お子さまを乗せて使用しない場合は本製品を車外に出してください

3点式シートベルトのみで使用する場合、お子さまが乗っていない状態では本製品は座席に固定されていません。自動車の動きにより本製品が車内で移動して思わぬ事故につながるおそれがあります。

05

お子さまを乗せて使用します。

お子さまの乗せかた

あらかじめ、以下のチェックリストを確認してください。

Check!

① 本製品がブースターモードになっていること。

参照 P45-48 ▶ブースターモードへの切り替え

② インサートは使用できません。取り外してください。

参照 P23-24 ▶インサートの外しかた▶01-02

③ 本製品が自動車の座席に正しく固定、または設置されていること。

参照 P48-54 ▶本製品の取り付け、設置

④ トップテザーは使用できません。収納袋に収納しておいてください。

参照 P36-37 ▶本製品の取り外し▶01-05

警告

トップテザーを使用しないこと

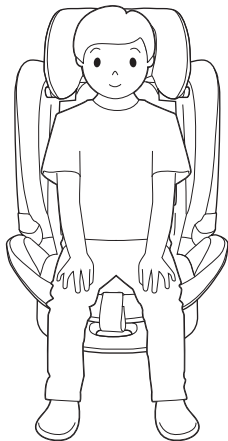
ブースターモードで使用する場合、3点式シートベルトのみでの使用、ISOFIX 固定装置を併用して使用する場合、いずれにおいてもトップテザーは使用できません。トップテザーベルトとフックは収納袋に正しく収納しておいてください。

01

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。腰を深くして、本製品の座面中央に座らせてください。

ポイント!

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが、浅すぎたり、深すぎたりしないようご注意ください。



02

ヘッドサポートを調節します。ブースターモードの場合は、緑色の肩ベルトガイドとお子さまの肩が同じ高さになるように調節してください。

参照 P28 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節▶ 01-02

ポイント!

シートベルトを装着してから、もう一度肩ベルトガイドの高さを確認します。

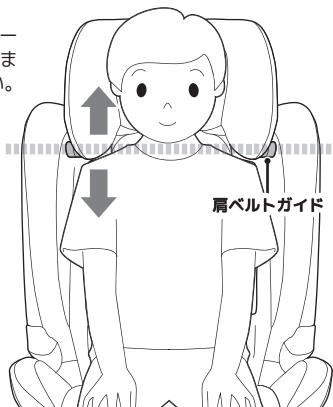
危険

ヘッドサポートの高さは適切に調節すること

ヘッドサポートの高さは、かならず適切な高さに調節してください。ヘッドサポートの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、シートベルトがお子さまの首に絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

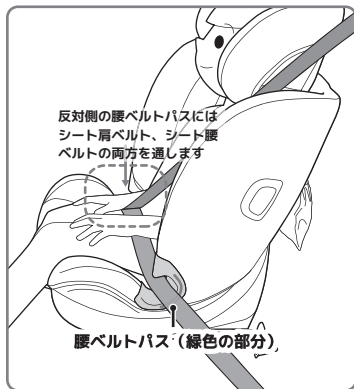
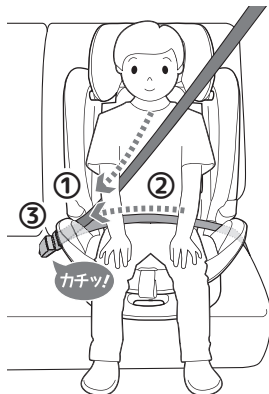
ポイント!

ヘッドサポートの高さは毎回調節する必要はありませんが、使用の都度、適切な高さになっているかを確認するようにしてください。ヘッドサポートの高さは、お子さまの成長に合わせて適宜適切に調節してください。



03

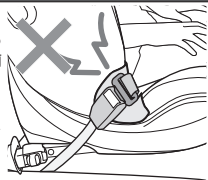
シートベルトをねじらないように注意して引き出して、①シートバックル側の腰ベルトパス（緑色の部分）にシート肩ベルトとシート腰ベルトを通し、②自動車のドア側の腰ベルトパスにシート腰ベルトを通して、③シートバックルを留めます。カチッと音がしてしっかりとシートバックルが留まっていることを確認してください。



⚠危険

シートバックルが干渉する座席では使用しないこと

ISOFIX 固定装置使用時、3点式シートベルトのみでの使用時に関わらず、シートバックルのベルトが長すぎる、シートバックルの位置が前方すぎるなどして、腰ベルトパス（ハーネスモード）にシートバックルが干渉する場合、グラつきが生じる、3点式シートベルトが正しく装着できないなどして本製品を安全に使用することができません。このような座席では使用しないでください。



04

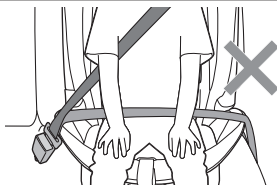
下図のように、シートベルト（シート腰ベルト、シート肩ベルト）が正しい状態で左右の緑色の腰ベルトパスの部分を通っていることを確認してください。



⚠危険

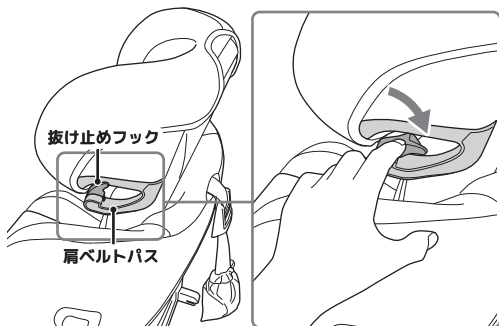
シートベルトは緑色の腰ベルトパスを通すこと

シートベルトが左右の腰ベルトパスを通っていないと本製品が安全に機能せず、大変に危険です。

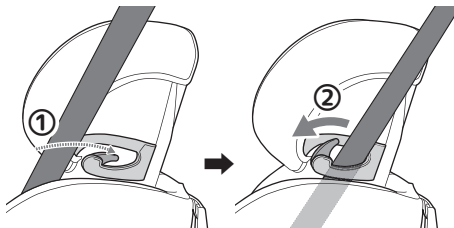


05

シート肩ベルトの取り出し口側（シートバックルの反対側）の肩ベルトガイド（緑色）の抜け止めフックを倒します。抜け止めフックのバネの操作は固めです。



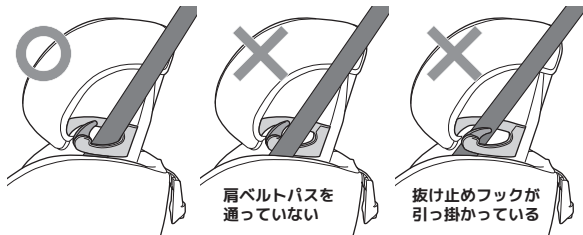
①シート肩ベルトを抜け止めフックの隙間から通して、②抜け止めフックを戻します。下図②のようにシート肩ベルトが肩ベルトガイドの中を通り、抜け止めフックが戻っていることを確認してください。



⚠危険

シート肩ベルトを正しく肩ベルトガイドに通すこと

事故や衝撃を受けた際に、シート肩ベルトが外れるなどして本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。シート肩ベルトを肩ベルトガイドの下側を通したり、抜け止めフックに掛かった状態では使用しないでください。シート肩ベルトは肩ベルトガイド以外の場所を通さないでください。



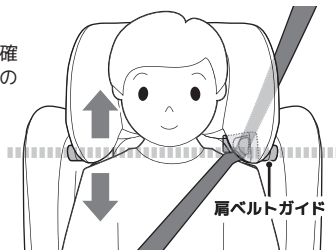
ポイント!

肩ベルトガイドは左右のいずれか一方を使用します。右ハンドル車の助手席後ろの座席の場合（本図）は正面から向かって右側（シート肩ベルトの取り出し口側/シートバックルの反対側）を使用しますが、右ハンドル車の運転席後ろの座席の場合は、正面から向かって左側を使用します。

06

シート肩ベルトの高さが適切になっているか確認します。緑色の肩ベルトガイドとお子さまの肩が同じ高さになるように調節してください。

参照 P28 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節▶ 01-02



危険

シート肩ベルトの高さを適切に調節すること

ヘッドサポートをお子さまの肩と同じ高さに調節することにより、シート肩ベルトの高さが適切な高さになります。シート肩ベルトが高すぎたり、低すぎたりすると、お子さまが本製品から飛び出したり窒息するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



07

シート肩ベルトが、左右で正しい位置を通るようにしてください。正しい位置より外側、内側を通っている場合は、お子さまの座る位置を確認して正しい位置にします。シート肩ベルトは正しい高さで、正しい位置を通るようにしてください。



ポイント!

3点式シートベルトのみで使用している場合、本製品の位置が左右にずれている場合があります。本製品が座席の中央に置かれていることを確認してください。

⚠危険

シート肩ベルトは、必ず正しい位置を通すこと

シート肩ベルトが、正しい位置よりもお子さまの首側（内側）にあると事故や衝撃を受けた際にシート肩ベルトがお子さまの首を圧迫し大変危険です。正しい位置よりも外側の場合、事故や衝撃を受けた際にお子さまがシート肩ベルトからすり抜けて飛び出るおそれがあります。

シート肩ベルトがお子さまの顔、頭部、首に掛かっている場合はそのまま使用せず、ヘッドサポートの高さ調節や、お子さまの着座位置を微調整するなどしてシート肩ベルトが正常な高さ、位置になるようにして使用してください。なお、3点式シートベルトのみで使用している場合、本製品の設置位置のずれによりシート肩ベルトを正しい位置にできない可能性があります。このような場合には本製品を座席の左右中央に設置しなおしてください。

シート腰ベルトだけで使用しないこと

シート肩ベルト、シート腰ベルトの両方を正しく使用してください。2点式シートベルトでは絶対に使用しないでください。また、シート肩ベルトをシートバックの裏側に回したり、お子さまの背中側にするなどして、シート腰ベルトだけの状態にして使用してはいけません。

シート肩ベルトを正しく使用すること

シート肩ベルトをゆるめたり、脇の下を通したりしないでください。

お子さまを正しく座らせること

お子さまが前方にずれた状態（お尻を前にずらす）だと、シート肩ベルトがお子さまの首にかかり、お子さまの首が締め付けられるおそれがあります。

本製品使用中は、お子さまが正しい状態で座っていることを適宜確認してください。

⚠警告

シートベルト用の市販のアクセサリ類を取り付けないこと

本製品に干渉し、安全に機能しなくなるおそれがありますので、シートベルトの長さを調節する器具やシートベルト用のパッド類などの市販のアクセサリ類を取り付けて使用しないでください。

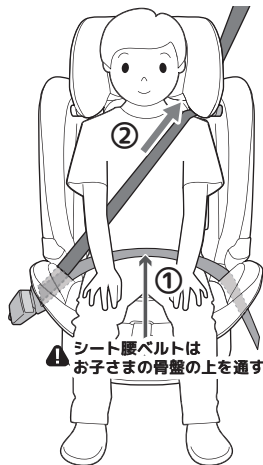
08

①シート腰ベルトの位置を調節して、お子さまの骨盤の上にシート腰ベルトが通るようにします。②シート肩ベルトを引いてシートベルトにたるみがないようにします。

⚠警告

シート腰ベルトは骨盤の上を通すこと

事故や急制動などの際に衝撃を骨盤で受けられるよう、シート腰ベルトをお子さまの骨盤の上を通すようにしてください。骨盤の上を通っていないと事故や衝撃を受けた際に内臓の損傷や骨折にいたる危険性が高まります。



⚠ シート腰ベルトは
お子さまの骨盤の上を通す

09

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっていることを確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

Check!

① 左右の腰ベルトパスにシートベルトが正しく通っていること。
② シートバックルにシートタングが確実に留まっていること。
③ シート腰ベルトにねじれやたるみがなく、お子さまの骨盤の上を通過してしっかりと締められていること。
④ シート肩ベルトにねじれやたるみがなく、正しく肩ベルトガイドを通り、かつ高さや位置が適切になっていること。しっかりと締められていること。
⑤ 腰ベルトガイドにシートバックルが干渉する座席では使用しないこと。シートバックルのベルトが長すぎる（または位置が高すぎる）、シートバックルの位置が前すぎる場合、腰ベルトガイドに干渉するおそれがあります。

10

お子さまにはシートバックルに手を触れないよう言い聞かせてご使用ください。お子さまがシートバックルに手を触れ、バックルを外してしまうおそれがあります。

警告

シートベルトは常に正しい状態で使用すること

お子さまがシートバックルに手を触れてバックルを外してしまったり、シートベルトから抜け出そうとしたりするおそれがあります。常日頃から、シートバックルには手を触れないよう、シートベルトを正しく装着しておくよう言い聞かせて、本製品の使用中は適宜安全の確認をするようにしてください。

ポイント!

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の方の管理のもとで乗り降りさせるようにして、本製品の操作は大人の方が行ってください。

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、シート肩ベルト（ヘッドサポート、肩ベルトガイド）の高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

11

お子さまを降ろす場合は、シートベルトのバックルを外してお子さまを降ろしてください。

3点式シートベルトのみで使用されている場合、本製品はお子さまが乗っていない状態では自動車の座席に固定されませんので、お子さまを乗せずに自動車を動かす際には、本製品を車外に出すか、またはトランクに移動させておいてください。

お手入れのしかた

本製品では、お手入れのためインサート、カバー類、パッド類を取り外すことができます。お手入れ後は、使用するモードに応じて取り外したカバー類、パッド類を元に戻してください。ハーネスモードでご使用になる場合は必要に応じてインサートを取り付けなおしてください。

危険

カバー類を取り外して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、カバー類（ヘッドサポートカバー、シートカバー）を取り外して使用しないでください。またハーネスモードで使用する場合には、股ベルトパッド、肩ベルトパッドを取り外した状態でも使用しないでください。

本製品に取り付けられているウレタン等の衝撃吸収材は安全に関わる重要な部品ですので、絶対に取り外さないでください。

また同様に、本製品に縫い付けまたは貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

警告

カバー類を外した状態の本製品および取り外したカバー類はお子さまの手の届かない場所に置いておくこと

お子さまが本製品の機構部や隙間に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。お手入れ等のため、カバー類を外したら、取り付けなおすまでの間はお子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

注意

カバー類の取り付け、取り外しは、慎重に作業してください

カバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないかを確認するようにしてください。本製品に取り付けてあるウレタン等の衝撃吸収材に傷をつけないように注意してください。

カバー類、パッド類の取り外しかた

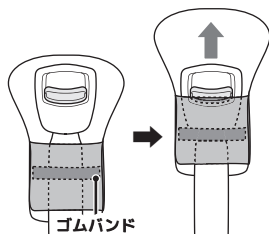
股ベルトパッド

👉ポイント!

ブースターモードに切り替えられている場合、股ベルトパッドは取り外されています。

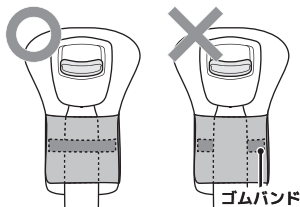
01

バックルを外し、受けバックルから股ベルトパッドを引き抜きます。股ベルトパッド内側のゴムバンドを外して引き抜いてください。



02

バックルカバーの取り付けは逆の手順で行います。右図のように、受けバックル（股ベルト）がゴムバンドの下側になるようにして取り付けてください。



肩ベルトパッド

👉ポイント!

ブースターモードに切り替えられている場合、肩ベルトパッドは取り外されています。

以下を参照して、肩ベルトパッドを取り外し、取り付けしてください。

参照 P45 ▶ブースターモードへの切り替え▶03

ヘッドサポートのカバー

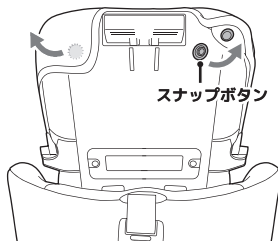
01

ヘッドサポートを引き上げておきます。

参照 P28 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節▶01-02

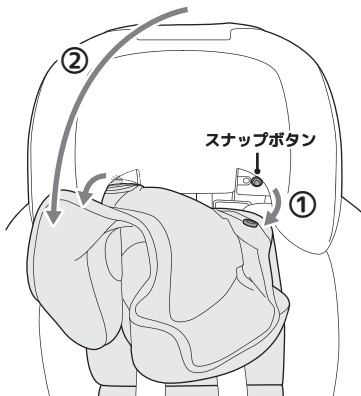
02

ヘッドサポートの背面の上部左右に留めてあるスナップボタンを外します。左右とも外してください。



03

①ヘッドサポートの前面左右に留めてあるスナップボタンを外します。左右とも外してください。②慎重にヘッドサポートのカバーを表側に向かってめくります。そのまま肩ベルトから抜いてヘッドサポートのカバーを取り外します。



04

取り付けは逆の手順で行います。

シートのカバー

01

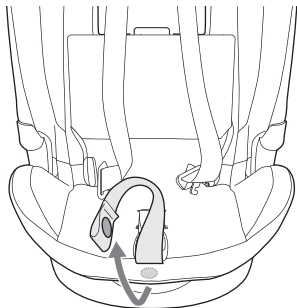
カップホルダー、SIPを取り外しておきます。

参照 P25 ▶カップホルダー▶02

参照 P22 ▶サイドインパクトプロテクション (SIP) の使いかた▶02

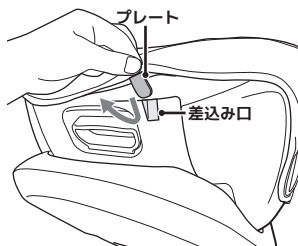
02

シェルの先端部にかかるシートカバーの内側でアジャスターベルトの先端を留めている面ファスナーを外します。



03

シェルの先端部（座面先端部）の左右に差し込んであるシートカバーのプラスチックのプレートを外します。左右とも外してください。

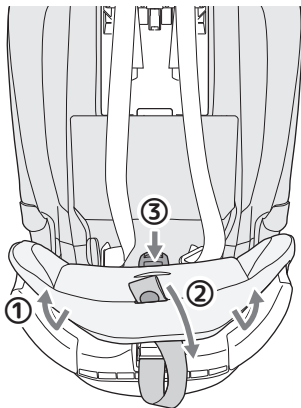
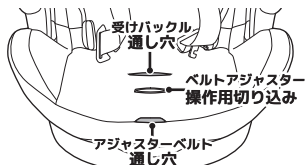


04

①座面先端部のカバーをめくって、②アジャスターベルト、③受けバックル（股ベルト）をそれぞれカバーの通し穴から抜き取ります。

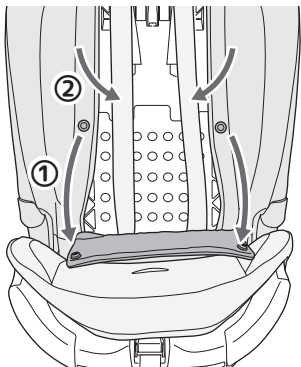
ポイント!

シートカバーを取り付ける際には通し穴を確認してください。シートカバーの座面先端部からアジャスターベルト通し穴、ベルトアジャスター操作作用切り込み、受けバックル通し穴が並んでいます。中央のベルトアジャスター操作作用切り込みには何も通さないでください。



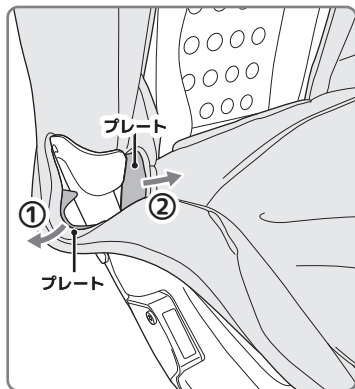
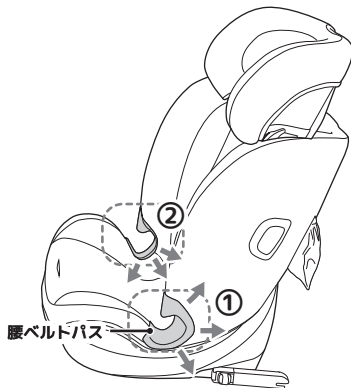
05

①シェルの背もたれ部左右（背中あたり）に留めてあるスナップボタンを外します。左右とも外してください。②ハーネスを内側に入れておきます。



06

腰ベルトパスの部分に差し込まれているカバーのプレートを外します。①腰ベルトパスの外側、②腰ベルトパスの内側にそれぞれ、カバーのプレートが差し込まれています。左右の腰ベルトパスから、外側、内側、両方を外してください。



警告

内側、外側のプレートを両方とも腰ベルトパスに差し込むこと

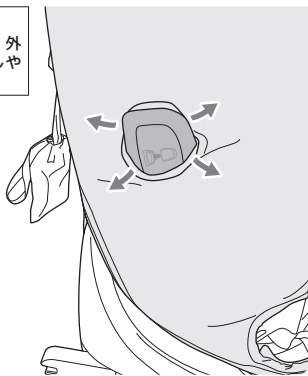
シートのカバーを取り付けなおす際には、カバーの内側、外側のプレートを両方とも確実に差し込んでください。差し込まれていないと、事故時や衝撃を受けた際に衝撃によりカバーがずれて思わぬ事故に繋がるおそれがあります。

ポイント!

取り付け時には、カバーの内側のプレート（上図の②）、外側のプレート（上図の①）の順で差し込むと取り付けしやすくなります。

07

左右の SIP スロットの周囲にたくし込まれているカバーを外します。左右とも同じようにしてカバーを外してください。

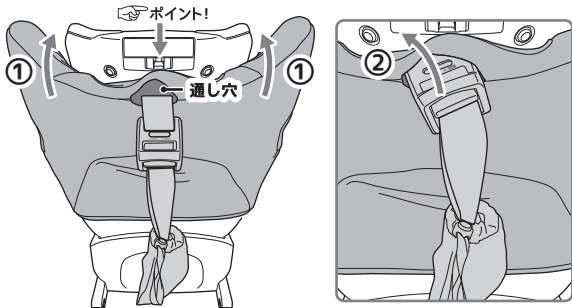


08

ベース背面のトップテザー固定バーにトップテザーのフックを固定している場合はあらかじめ取り外しておいてください。

参照 P36-37 ▶本製品の取り外し▶ 01-05

①シートのカバーを少し上にずらして、②カバーの背部上端の通し穴からトップテザーを内側に抜き取ります（トップテザーインジケーター、トップテザーベルト、収納袋）。



👉ポイント!

ヘッドサポートの高さを下げておくと操作がやり易くなります。

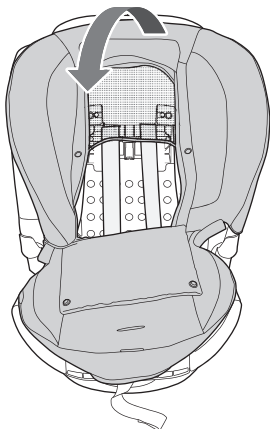
参照 P28 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節▶ 01-02

09

カバーを前方にめくってシートのカバーを取り外します。

10

取り付けは逆の手順で行います。



カバー類・パッド類・インサートのお手入れ

取り外したシート、ヘッドサポートのカバーとインファントインサートは、以下の表示に従ってお手入れしてください。



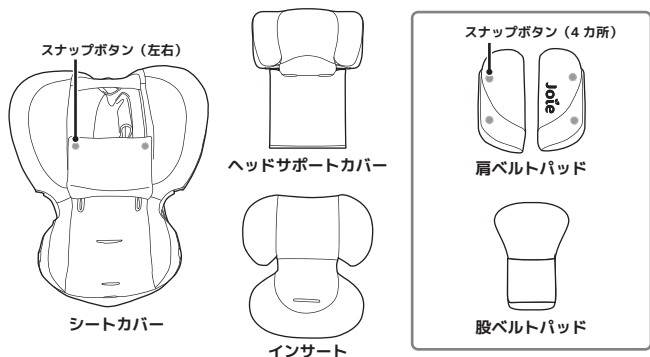
指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法で洗うと、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。

ポイント!

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

洗濯機で洗濯可能



液温 30℃を限度に、弱水流に設定した洗濯機で洗うことができます（手洗いをお勧めします）

洗濯機の容量や機種によっては、重量の偏りにより洗濯機が故障するおそれがあります。脱水時に偏りが発生した場合などは、**30℃以下の水温で手洗いしてください。**また、カバー類のプレート部が変形するおそれがありますので、プレートのある部分に力が掛からないようご注意ください（シートカバーの左右、ヘッドサポートカバーの下部）。

漂白剤は使用しないでください

劣化を早め、変退色、破損の原因となりますので、塩素系、酸素系の漂白剤は使用しないでください。

tumble dryer 乾燥をしないでください

破損、損傷、縮みの原因となりますので、 tumble dryer 乾燥（乾燥機）は使用しないでください。

陰干ししてください

型崩れしないようしっかりと開いて日陰で吊り干ししてください。

アイロンは使用しないでください

破損、縮み、溶けの原因となります。

ドライクリーニングしないでください

変色、破損、縮みの原因となります。商業クリーニング、ドライクリーニングは避けてください。

固定可能なスナップボタンを留めてください

破損を防ぐため、固定可能なスナップボタンを留めてお手入れしてください。
シートカバー（左右2カ所）、肩ベルトパッド（片側2カ所/合計4カ所）

⚠注意

原液の中性洗剤、有機溶剤を使用しないでください

未希釈の中性洗剤、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、溶解、破損、損傷のおそれがあります。

きつく絞らないでください

型崩れ、破損、変形の原因となります。

お手入れ後の取り付け

カバー類、インファントインサートはよく乾かしてから取り付けしてください。

本体（ベース、シェル）のお手入れ

⚠危険

潤滑剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、マシン油などの潤滑剤を絶対に使用しないでください。

潤滑剤が付着すると本製品が変質、破損したり、安全に機能しなくなったりするおそれがあります。

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。

水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

樹脂部分・衝撃吸収材

01

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。衝撃吸収材は特にやさしくお手入れしてください。

洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

⚠ 注意

洗剤類は使用しないでください

洗剤類は使用しないでください。含まれる成分によって、樹脂や衝撃吸収材に影響を与えるおそれがあります。劣化、変質、溶解の原因になる可能性があります。

ウェットタオルの使用にはご注意ください

市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）は含まれる成分によって、樹脂や衝撃吸収材に影響を与える可能性がありますので、ご使用には注意してください。

ISOFIX コネクター・トップテザー

ISOFIX コネクター、トップテザー、自動車の ISOFIX 固定装置とトップテザーアンカーは常に清潔を保つようにしてください。

01

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

金属部分

01

金属部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れを拭き取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合、お手入れ後は洗剤をよく拭き取ってください。

除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意

除菌・抗ウイルスのスプレー、ミスト、ジェル等の製品には、本製品の縫製品、樹脂、金属に影響を与える成分が含まれている可能性があります。本製品に対する使用にあたっては、あらかじめこれらの製品のメーカーにお問い合わせの上、影響の有無に付きご確認ください。

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、自動車から取り外しておいてください。

直射日光を避けて、寒暖差および湿気の少ない室内のお子さまの手の届かない場所で保管してください。

雨風のアたる場所、露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示シートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	ジョイ・チャイルドシート アイ-ボールド		
お買い上げ日			
お客様	ご住所	お買い上げ 販売店名	店名
	〒		住所
	お名前		電話番号
	電話番号	-	-

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象なりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

1. 保証期間中に正常な使用状態において、万が一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
2. 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - ・ 本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - ・ お客様のご購入を証明することができない場合
 - ・ 本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた故障、破損、不良の場合

- ・ 正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類等縫製品のほつれの場合
- ・ 部品の紛失の場合

3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。

- ・ 事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、破損、汚損の場合
- ・ 誤使用、または改造、不当な分解によって生じた故障、破損、汚損の場合
- ・ 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
- ・ 並行輸入品や海外で購入された製品の場合
- ・ 業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
- ・ 中古品の場合
- ・ 本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
- ・ 本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合

4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(Joie日本総代理店)

株式会社カトージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シシート等を貼り付けてください

Allison Baby UK Ltd,
Venture Point, Towers Business Park
Rugeley, Staffordshire, WS15 1UZ

Joie™

bring the kids™
Share the joy at joiebaby.com

2401V01